

平成28年度 第16次チェルタルド市訪問

甘楽町中学生国際交流研修団報告記



サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会(ミラノ)



コロッセオ(ローマ)



プレトリオ宮殿(チェルタルド・アルト)

群馬県甘楽町

公益財団法人 甘楽町国際交流振興協会

目 次

◇ “チェルタルド市研修団報告記によせて”	
甘楽町長 茂原 荘 一	…… 1
◇ “第16次中学生研修団派遣を終えて”	
(公財) 甘楽町国際交流振興協会理事長 富岡 古 男	…… 2
◇ 第16次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団	
＜団長報告記＞ “チェルタルド市訪問を終えて”	
団長 佐俣 勝彦	…… 3
＜名 簿＞	…… 5
＜受入家庭名簿＞	…… 6
＜研修団の概要＞	…… 8
＜研修団報告記（中学生研修団員・通訳・随行員）＞	…… 20
◇ 資料編	
＜チェルタルド市の概要＞	…… 45
＜歴代研修団＞	…… 46
＜国際交流年表＞	…… 61



チェルタルド市研修団報告記によせて

今年も16人の中学生が遠く海を渡り、チェルタルド市を訪問しました。姉妹都市交流から33年目を迎え、今回の第16次中学生国際交流研修団で述べ280人を数えます。

今年の日伊国交150周年記念の年でもあります。甘楽町の交流はその1/5以上の歳月を重ねており、イタリア国との自治体間交流の歴史としては国内でも先進であると思います。

今回参加した中学生の皆さんは、この報告記を書きながら楽しかった11日間の日々を振り返ったことと思います。出発前に抱いた不安や待ち遠しい気持ち、イタリア滞在中に感じた驚きや感動そして戸惑い。さらに、参加させてくれた両親や家族、ホストファミリーへの感謝。どれも研修団に参加しなければ味わうことができなかった感情です。これら乗り越えたことでまたひとつ成長できたのではないのでしょうか。

心に刻まれた思い出や肌で感じた経験は何事にも代え難い財産になるでしょうし、今回のイタリア訪問で得たことを今後の中学校生活でも活かし、広く海外にも視野を持って成長してくれることを期待しています。そして同時に、日本という国を外国の人達にも伝えられるよう、日本や甘楽町の歴史や文化もしっかりと学んでほしいと思います。

中学生の皆さんには、甘楽町の中学生代表として、研修団へ参加する目的をしっかりと自覚し、イタリアの歴史文化・ホームステイの意義を事前学習で学び、充実した研修にしていいただきたいと願っています。町では、これからも姉妹都市交流の一つの柱である本事業をさらに推進させていきます。

最後に、チェルタルド市の皆様、ホストファミリーの皆様、公益財団法人甘楽町国際交流振興協会、佐俣団長や随行員をはじめ本事業にご協力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。

2016年12月

甘楽町長 茂原 莊一



第16次中学生研修団派遣を終えて

今回で16回目となる「チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団」派遣事業は、多くの関係者のご支援とご協力により、無事実施することができました。

佐侯議長を団長とした研修団の皆様により、甘楽町とチェルタルド市の友好交流に大きな成果を上げることができましたことに改めて厚くお礼申し上げます。

チェルタルド市を訪問した中学生研修団員は1986年の第1次研修団から述べ280人となりました。また、今回は、第3次中学生研修団員のお子さんが団員として派遣となり、姉妹都市交流の歴史を感じるとともに、次世代に継承された友好の絆を確信しております。

研修団員の皆さんは、チェルタルド市でのホームステイで異国の生活習慣を体験し、ミラノ、フィレンツェ、ローマでの様々な文化遺産の見学などで歴史や文化に触れられたことは、今後の皆さんの人生にとって大きな財産になると思います。

帰国報告会での皆さんの言葉を聞いて、チェルタルド市との友好親善がさらに深められた様子を伺い知るとともに、成長した姿を実感でき、大変喜ばしく思っております。ぜひ、研修で感じた国際交流の素晴らしさを周りの方々に伝え、今回の経験を生かしていただきたいと思います。

この中学生研修団の相互派遣は、両市町の友好交流の発展と、国際的視野を広め、国際社会に対応できる青少年たちの健全育成に大きく寄与するものであり、今後の継続と発展を心より願っているところであります。

最後になりましたが、今研修団を派遣するにあたりご協力をいただきました、関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、引き続き国際交流振興協会に対しましてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2016年12月

公益財団法人 甘楽町国際交流振興協会
理事長 富岡古男



チェルタルド市訪問を終えて

第16次チェルタルド市訪問中学生国際交流研修団の団長を仰せつかり、大きなトラブルもなく全員そろって無事帰町することができ、安堵いたしました。今回の研修団は、女子6名、男子10名と男子生徒が多く参加しました。8月16日、成田空港を出発し約12時間のフライトを経て、ミラノ（マルペンサ空港）到着、翌日ミラノ市内の視察後、夕方にはチェルタルド市マチェッリ広場到着、すでに広場には、8月初め使節団長として来町されたクララ・コンフォルティ団長、リド・オルシ国際文化交流推進協会会長はじめホストファミリー・市関係者など大勢の皆様に出迎えていただきました。青少年センターで対面式に臨み、各受け入れ家庭の紹介により対面、その後、各家庭に向かい一週間のホームステイが始まりました。

8月18日、上の町での歓迎式では、中学生はホストファミリーと一緒に参加し、集まっているジャコモ・クチーニ市長、リド・オルシ国際文化交流推進協会会長、クララ・コンフォルティ評議員、その他市担当者等に迎えられ、歓迎式がスタートいたしました。クチーニ市長は「青年使節団の交流はとても意義のあるもので、未来を担う若者が両国の違いを理解する良い機会です。甘楽町とチェルタルド市は非常に離れているが、更に交流を深めて、将来を担う子供達のサポートを続けていきたい」と挨拶、オルシ会長は「33年間続いているこの交流が更に深まり、豊かなものとなり良い思い出を持って帰ってください」と挨拶、その後、子供達はイタリアの子供と一緒に駐在員の稲葉さんの指導により折り紙作りをしました。

我々は、ホームステイ期間中、各家庭を訪問させて頂き、子供達の様子を聞きましたが、各家庭とも、我が子以上の愛情を持って接していただいたことに感謝申し上げます。

子供達は言葉も通じず、生活習慣の違い、食文化の違いなど戸惑いもあったようですが、一生懸命にコミュニケーションを図る努力をしていることが伝わってきました。中には、お菓子作りを一緒に行なったり、我々に対して飲み物・食べ物を一緒にテーブルに並べているところを見て、頑張っている姿に感動しました。チェルタルド市最後の夜、今まで甘楽町と交流に携わった方々100名以上の参加をいただき、お別れ夕食会が盛大に開催されました。最後にはソーラン節の踊りを披露しました。すると、全員の参加者よりアンコールがあり、再度披露すると大人も子供も参加し、非常に賑やかで楽しいお別れ会となりました。

また、随行員はチェルタルド市滞在中に施設の視察を行いました。高齢者施設（イ・テ

イーリ)では、手作りの歓迎の絵が掲げられ、入居者はギターにあわせて音楽療法士と大きな声で歌ったり、運動を行っており、明るい雰囲気でした。

フィレンツェ中央市場は、フィレンツェの市民の胃袋とも言われ、巨大な生鮮食品市場で便利な食材店が何十軒も並んでいて、京都と姉妹都市を結んでいるため日本人の従業員が数名働いていました。

道の駅甘楽で昨年より販売しているカントチーニというお菓子の製造元も見学させていただきました。菓子店の社長は衛生面にすごく気を付けていると言うだけあり、工場内は整理整頓がされ非常にきれいでした。

今回、私は2回目のチェルタルド市訪問でしたが、毎年お会いしているような雰囲気は何だろうと思いました。それは甘楽町とチェルタルド市との33年間の友好交流のおかげとチェルタルド市民の友情と愛情、そして親しみやすい人間性があるからだと思います。

歴代の市・町長が33年間交流を続けているおかげであり、また、少しずつ前進していく事が大切であり、今後議会としても執行と共に、文化・経済交流を通じて益々交流が続くよう大いに努力をして行きたいと思います。

研修団員の子供達にはこの貴重な経験を今後の人生に生かしてほしいと思っております。

最後にお世話になったチェルタルド市の皆さんに感謝申し上げ、今後、益々チェルタルド市と甘楽町が強固な絆で結ばれるようお願いし、また、甘楽町の関係者各位に感謝申し上げます。帰町報告に代えさせていただきます。

団長 佐 俣 勝 彦



プレトリオ宮殿前にて



ボッカチオの家で行われた歓迎式にて

《第16次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団名簿》

No.	所属	氏 名	性別	住 所	備 考
1	団 長	佐 俣 勝 彦	男	甘 楽 町 大 字 白 倉	議会議長
2	随 行 員	田 中 睦 宏	男	甘 楽 町 大 字 小 幡	企画課補佐兼 企画調整係長
3	随 行 員	塩 原 美 佐 子	女	富 岡 市 富 岡	健康課 介護保険係長(保健師)
4	通 訳	一ノ瀬 俊 和	男	東京都稲城市矢野口	国立音楽大学教授

No.	所属	氏 名	性別	住 所	保護者
1	甘楽中1-3	井 上 美 咲	女	大 字 小 幡	恵 介
2	甘楽中2-1	飯 塚 潤 哉	男	大 字 福 島	儀 和
3	甘楽中2-1	井 上 貴 史	男	大 字 天 引	智 美
4	甘楽中2-1	児 玉 大 地	男	大 字 善 慶 寺	雄二郎
5	甘楽中2-1	關 口 遼	男	大 字 天 引	達 也
6	甘楽中2-1	山 崎 美 奈	女	大 字 庭 谷	純 男
7	甘楽中2-2	小 柏 魁	男	大 字 天 引	修
8	甘楽中2-2	上 條 透 聖	男	大 字 福 島	雅 人
9	甘楽中2-2	富 岡 帝 貴	男	大 字 善 慶 寺	裕 貴
10	甘楽中2-3	小 柳 結 愛	女	大 字 金 井	正 人
11	甘楽中2-3	小 山 聖 愛	女	大 字 天 引	昭 弘
12	甘楽中2-3	富 岡 大 貴	男	大 字 善 慶 寺	学
13	甘楽中3-2	金 田 昂 大	男	大 字 福 島	宏 則
14	甘楽中3-2	鈴 木 凜 花	女	大 字 小 川	悦 子
15	甘楽中3-4	中 嶋 野 乃 花	女	大 字 金 井	匡 樹
16	甘楽中3-4	丸 澤 治 樹	男	大 字 善 慶 寺	哲

《第16次チエルトルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団受入家庭名簿》

No.	所 属	氏 名	世帯主(名・姓)	妻(名・姓)	子供(名)	性別	年齢	備考
1	甘楽中 2-1	飯塚 潤哉	ルチャヤノ・カポダルカ	サブリーナ・ゴーリ	SARA(サーラ)	女	15	
2	甘楽中 2-1	井上 貴史	LUCIANO CAPODARCA(企業家)	SABRINA GORI(会社員)	LISA(リーザ)	女	13	
3	甘楽中 2-1	児玉 大地	イタロ ペコレッティ	サブリーナ レッリ	AMELIA(アメリア)	女	14	
4	甘楽中 2-3	富岡 大貴	ITALO PECORETTI(人形師)	SABRINA LELLI(トスカーナ州職員)				
5	甘楽中 2-2	小 柏 魁	パオロ ナンネッティ	サブリーナ ティンティ	SIMONE(シモーネ)	男	14	
6	甘楽中 2-2	富岡 帝貴	PAOLO NANNETTI(測量士)	SABRINA TINTI(会社員)				
7	甘楽中 2-1	關 口 遼	マッシモ ガッジェッリ	クラウディア ベトカ パトリツィア	ERYKA(エリカ)	女	14	
8	甘楽中 2-2	上 條 透聖	MASSIMO GAGGELLI(顧問税理士)	KLAUDIA BETKA PATRYCJA(会社員)				
9	甘楽中 3-2	金田 昂大	アンドレア パピ	マーナ ロンバルディ	GABRIELE(ガブリエーレ)	男	14	
10	甘楽中 3-4	丸 澤 治樹	ANDREA PAPI(皮製品会社経営)	MARNA LOMBARDI(皮製品会社経営)	RICCARDO(リカルド)	男	9	
11	甘楽中 1-3	井上 美咲	フランコ ブロージ	エリーザ オルシ	VIRGINIA(ヴァイレジーニア)	女	16	
12	甘楽中 3-4	中 嶋 野乃花	FRANCO BROGI(レストラン経営)	ELISA ORSI(レストラン経営)				
13	甘楽中 2-1	山 崎 美奈	ファビオ ブッレーシ	サブリーナ イエンナ	IRENE(イレネ)	女	16	
14	甘楽中 2-3	小 柳 結愛	FABIO BURRESI(会社員)	SABRINA IENNA				
15	甘楽中 2-3	小 山 聖愛	ダーヴィデ ピアッツィーニ	チェチーリア モロッケーシ	SARA(サーラ)	女	11	
16	甘楽中 3-2	鈴木 凜花	DAVIDE PIAZZINI(建築業職人)	CECILIA MORROCCHESI(会社員)	EVA(エーヴァ)	女	2	

: H28年度 第9次甘楽町訪問チエ市青年使節団員

ホストファミリーの皆さんとの思い出の写真



ルチャーノ・カポダルカさん宅
〈飯塚 潤哉・井上 貴史〉



イタロ・ペコレッティさん宅
〈児玉 大地・富岡 大貴〉



パオロ・ナンネッティさん宅
〈小柏 魁・富岡 帝貴〉



マッシモ・ガツジェッリさん宅
〈関口 遼・上條 透聖〉



アンドレア・パピさん宅
〈金田 昂大・丸澤 治樹〉



フランコ・ブロージさん宅
〈井上 美咲・中嶋 野乃花〉



ファビオ・ブッレーシさん宅
〈山崎 美奈・小柳 結愛〉



ダーヴィデ・ピアッツィーニさん宅
〈小山 聖愛・鈴木 凜花〉

第16次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団の概要

- 4月 8日(金) 研修団員募集開始
- ~4月25日(月) (応募生徒数24名)
- 4月27日(水) 中学校より研修団員の推薦
- 5月 2日(月) 研修団員選考委員会開催
- 5月16日(月) 団員選考抽選会(16名決定)
- 5月17日(火) 団員決定通知交付
- 6月 2日(木) 第1回打合せ会議開催(ら・ら・かんら)
- 7月13日(水) 第2回打合せ会議開催(甘楽町公民館)
- 7月21日(木) } 事前研修会(ら・ら・かんら)
- 22日(金) } 講師:一ノ瀬俊和氏
- 23日(土) }



イタリアについて解説する一ノ瀬講師



研修の様子

- 8月10日(水) 壮行会(甘楽中学校)
- 第3回打合せ会議開催(壮行会終了後)

【第16次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団行程】

- 8月16日(火) くもり
- 7:00 甘楽町役場出発
- 10:30 成田空港着



甘楽町役場を出発



行ってきます

- 13:00 成田空港発(AZ787便)
- (現地時刻) 18:30 ミラノ マルペンサ空港着(日本との時差 -7時間)
- 20:30 ホテル「ドリアグランドホテル」着
- 21:00 ホテルの部屋にて夕食

- 8月17日(水) 晴れ
- 7:00 ホテルにて朝食
- 8:00 ホテル発(ミラノ市内見学)

8:45 サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会見学、「最後の晚餐」鑑賞

10:00 ドゥオーモ見学



「最後の晚餐」鑑賞



ドゥオーモ見学

12:00 ミラノ市内レストラン「L' IMPERATORE」にて昼食

13:00 チェルタルド市に向けてミラノを出発

18:00 チェルタルド市に到着

対面式(マチェッリ広場 青少年センター)



チェルタルド市に到着



マチェッリ広場 青少年センター



クララ・コンフォルティ評議員挨拶

<クララ・コンフォルティ評議員挨拶>

皆さん日本からようこそいらっしゃいました。皆さんに再会できたことを嬉しく思っています。私たちは、日本で非常に楽しく過ごしてきました。この再会は心が躍るようです。30年以上の交流を通し、実際に会って益々友情が深まって行きます。関係者皆さんの協力で改めてお礼申し上げます。



対面式会場にて



佐俣勝彦団長より挨拶



リド・オルシ国際文化交流推進協会長の挨拶

<佐俣勝彦団長挨拶>

皆さんこんにちは。過去16回の交流で延べ280名の子供がチェルタルド市へ来ています。チェルタルド市からは98名が訪れています。この子供たちが成人になった時にもっともっと大きな橋渡しをしていくことと期待しています。ホストファミリーの方、関係者の皆様には、期間中本当にお世話になります。



ホストファミリーと対面



7日間お世話になります

18:45 団員は受入家庭へ

19:00 団長、随行人、通訳(以降「団長以下4名」)、宿泊ホテル「ラティーニ」着

19:30 団長以下4名、ホテルにて夕食

○ 8月18日(木)

晴れ

9:30 団長以下4名、ホテル発(チェルタルド・アルトへ) ※団員は受入家庭から集合

10:00 ポッカチオの家にて歓迎式



クララ・コンフォルティ評議員により開会



ジャコモ・クチーニ市長挨拶

<ジャコモ・クチーニ市長挨拶>

この青年使節団の交流はとても意義のあるもので、未来を担う若者が両国の違いを理解する良い機会でもあります。甘楽町とチェルタルド市は非常に離れているが、距離に関係なく更に交流を深めて、将来を担う子供たちのサポートを続けて行きたいと思います。甘楽町では駐在事務所を開設し、稲葉美代子さんには様々な形で協力をいただき感謝しています。33年の交流は我々の誇りです。昔、チェルタルドに来た子のおさんが今来てっていると聞きました。これもホストファミリーや様々な人の継続の力であると思います。関係者には心から感謝します。楽しんでいただけることを願って挨拶とします。



公式歓迎式の様子



佐俣勝彦団長挨拶



稲葉美代子駐在員挨拶



リド・オルシ国際文化交流推進協会会長挨拶

<甘楽町イタリア駐在事務所 稲葉美代子駐在員挨拶>

甘楽町の中学生皆さんようこそチェルタルドへ。私たちは、子供たちがチェルタルド市で楽しく過ごしてもらい、友情をさらに深めてもらいたいと考えています。私は、約1年前に甘楽町長から駐在事務所の仕事を受けました。甘楽町とチェルタルド市の関係は30年以上続いています。この交流について私は更なる情熱で仕事をする決意をしているところです。この事業では、甘楽町の皆様・チェルタルド市の皆様・評議員様・交流協会の皆様が私をサポートしてくれています。私はいつでも皆さんのお手伝いをしますので、何なりとお申し付けください。

<リド・オルシ国際文化交流推進協会会長挨拶>

第16次研修団の皆さんを心から歓迎いたします。皆さん、チェルタルド市の滞在を楽しんでください。33年続いているこの交流が、更に深まり豊かなものとなり良い思い出を持って帰ってほしいと思います。楽しい1週間を過ごしてください。

11:00 稲葉美代子駐在員による折り紙創作アート交流 ※交流終了後、団員は受入家庭で過ごす



折り紙創作アート交流



キャンディーを使って花を作りました

団長以下4名、チェルタルド・アルトを見学

12:00 レストラン「オステリア・デル・ヴィカリオ」にて昼食

16:00 高齢者施設「イ・ティーリ」見学



チェルタルド・アルト見学



高齢者施設の皆さんと一緒に

18:00 チェルタルド市内見学(市役所・公園・プール・COOP)

20:00 アグリツーリズム「Villa Vacanze Manetti」施設見学・夕食

22:00 ホテル着

○ 8月19日(金)

晴れ

8:30 チェルタルド市発 ※団員たちは受入家庭の皆さんと一緒に電車でフィレンツェ見学へ



チェルタルド駅にて



電車でフィレンツェに向かいます

10:30 団長以下4名、車でフィレンツェに到着して団員たちと合流

11:00 ウフィッツィ美術館見学

12:30 研修団・受入家庭総勢70名で「Cipolla Rossa」にて昼食



ウフィッツィ美術館見学



昼食のレストランにて

※昼食後、団員たちは受入家庭の皆さんと一緒に行動

※団長以下4名は、団員たちと別れ、フィレンツェを見学

15:00 ミケランジェロ広場見学

20:00 市職員ダニエーラ・チュッリさん宅で夕食

22:30 第9次チェルタルド市青年使節団随行人・受入家庭フランコ・ブロージさんの店見学

0:30 ホテル着

○ 8月20日(土)

晴れ

7:30 チェルタルド市発

※団員たちは受入家庭の皆さんと一緒にバスでアックア・ヴィレッジ・チーナ(ウォーターパーク)へ向かい、終日過ごす



プールにて



サッカー

8:30 団長以下4名、ホテル出発(シエナへ)

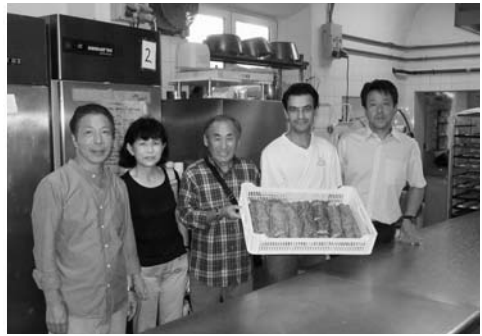
10:00 シエナ見学・カンポ広場にて昼食

18:00 菓子店「Forno Moderno」視察



菓子店「Forno Moderno」

20:00 甘楽町イタリア駐在事務所見学・夕食



カントチーニの製造を見学



甘楽町イタリア駐在事務所前にて



夕食をいただきました

23:00 ホテル着

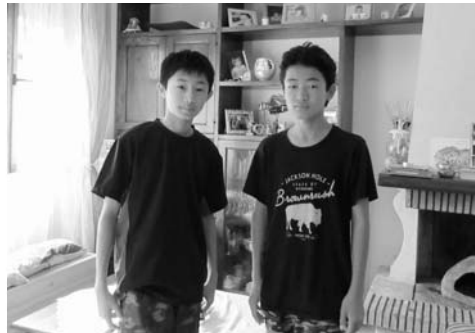
○ 8月21日(日)

晴れ

※団員は終日受入家庭で過ごす

8:45 団長以下4名、ホテル発(家庭訪問へ)

9:00 家庭訪問開始



関口 遼・上條透聖(マッシュモ・ガッジェッリさん宅)



金田昂大・丸澤治樹(アンドレア・パビさん宅)



小山聖愛・鈴木凜花(ダーヴィデ・ピアッツィーニさん宅)



井上美咲・中嶋野乃花(フランコ・ブロージさん宅)

12:00 家庭訪問先のフランコ・ブロージさん宅にて昼食

16:45 家庭訪問再開



飯塚潤哉・井上貴史(ルチャーノ・カポダルカさん宅)



山崎美奈・小柳結愛(ファビオ・ブッレーシさん宅)



小柏 魁・富岡帝貴(パオロ・ナンネッティさん宅)



児玉大地・富岡大貴(イタロ・ペコレッティさん宅)

20:00 家庭訪問先のイタロ・ペコレッティさん宅にて夕食

23:00 ホテル着

○ 8月22日(月)

晴れ

※団員は夕方まで受入家庭で過ごす

9:30 団長以下4名、ホテル発(サン・ジミニャーノへ)

13:00 ヴェルナッチャ博物館を視察・昼食

16:00 チェルタルド・アルトにて団員たちと合流、日伊国交150周年記念事業「中世の遊び」に参加



プレトリオ宮殿まで行進しました



「中世の遊び」が始まります



パンを投げて競います



優勝チームへはメダルが授与されました

19:30 レストラン「ラ・アイ・ラーゴ」にてお別れ夕食会

※チェルタルド市関係者、ホストファミリーの皆さんと一緒に



お別れ夕食会会場



最後の夜をみんなで一緒に過ごしました



ジャコモ・クチーニ市長挨拶



佐俣勝彦団長挨拶

<ジャコモ・クチーニ市長挨拶>

日伊国交150周年の年になりますが、この時を一緒に過ごせたことを嬉しく思います。毎年いろいろな企画があり、私たちの交流は続いています。両国は遠い国ではあるが、多くの方々が携わって来ているからの功績です。改めて感謝いたします。ホストファミリーの皆さんには、日本の子を自分の家族として受け入れていただいたことに大きな喜びを感じています。

<佐俣勝彦団長挨拶>

市長はじめ関係者全ての皆さんに感謝申し上げます。1週間前、子供たちは心配そうな顔でホームステイに入りました。家庭訪問した時は、家族同様になっている子、言葉が通じず困っている子、それぞれでしたが、受入家庭の皆さんは我が子以上に愛情を持って接していただきました。彼らの人生の中でこの訪問は必ず役に立つと思います。また、私たちもこれから長くお付き合いができると思っています。本当にありがとうございました。



新たな友情の絆が深まりました



歌「上を向いて歩こう」を披露



「ソーラン節」を一緒に踊りました



中嶋野乃花さんからお礼の言葉

0:00 お別れ夕食会終了 ※団員は受入家庭へ

0:30 ホテル着

○ 8月23日(火) 晴れ

7:45 交流25周年記念モニュメントがあるロータリー前の駐車場集合

8:00 別れを惜しみながらチェルタルド市を出発



受入家庭の皆さんに送られて集合



お世話になりました



いよいよ別れの時です



Ci vediamo !

12:30 ローマ到着、市内のレストラン「La Famiglia」にて昼食

15:00 ローマ市内見学(コロッセオ・トレヴィの泉)

17:30 ホテル「ベストウエスタンプレミアホテルロイヤルサンティーナ」着



ローマにてピザの昼食



コロッセオ内部にて



トレヴィの泉



みんなでジェラートを食べました

19:00 ホテル内レストランにて夕食

○ 8月24日(水)

晴れ

※午前3時36分、イタリア中部ペルージャ県を震源とするイタリア中部地震発生
研修団に影響はなし

9:00 ホテル発(ローマ市内見学)



ナヴォーナ広場にて



パンテオン見学

12:30 レストラン「AL GIARDINO DEL GATTO E LA VOLPE」にて昼食

ローマ三越にてショッピング

ヴァチカン市国見学(サン・ピエトロ大聖堂・システィーナ礼拝堂・サン・ピエトロ広場)



ヴァチカン美術館見学



サン・ピエトロ広場

19:30 レストラン「MANGROVIA」にて夕食

21:30 ホテル着

○ 8月25日(木)

晴れ

9:00 ホテル発

9:30 サンタ・マリア・イン・コスメディン教会、「真実の口」見学



真実の口にて



イタリアでの最後の食事

11:30 レストラン「La Carovana」にて昼食

13:00 ローマ フィウミチーノ空港到着

15:20 ローマ フィウミチーノ空港発(AZ784便)

- 8月26日(金) 晴れ
- (日本時刻) 10:00 成田空港着
- 11:30 成田空港発



成田空港到着ロビーにて



バス乗って甘楽町へ向かいます

- 16:00 甘楽町役場着

佐俣勝彦団長より無事帰国の報告

茂原荘一町長・富岡古男理事長より労いの言葉をいただき解散



甘楽町役場に到着



帰町報告する佐俣勝彦団長

- 9月26日(月) 帰国報告会(ら・ら・かんら)



帰国報告会にて

研修団報告記

(中学生研修団員・通訳・随行員)



イタリア研修を終えて

甘楽中 1年3組
井上 美咲

私はチェルタルドへ行き、貴重な体験をたくさんしてることができました。ホームステイでは、イタリア人の生活や、食文化、生活習慣、その他にもたくさん、今までの私が知らなかったことを学びました。イタリアに行くまでは、初めての海外、初めてのイタリアということで、とても不安でしたがイタリアの人は、みんな親しみやすく、「チャオ」その一言だけで仲良くなれました。

イタリアに着き、空港を出ると、日本とは違い空気はとても乾燥していて、日ざしは強かったです。サラッとした暑さでした。その気候の違いを言葉のとおり肌で感じる事ができました。この違い一つとっても、日本とイタリアの違いを感じ、勉強になりました。

イタリアでの初めての夜、7時や8時を過ぎても、とても明るく夜なのがうそのようでした。夜には、きん張っていて、全然ねむれませんでした。



▲ホストファミリー経営のレストランにて

チェルタルドでは、前に甘楽町にホームステイに来ていた子と再会するのでとてもワクワクしていました。チェルタルドに着いて、バスを降りると、すぐ、私の家にホームステイに来てくれた子が手を振ってくれました。その笑顔を見ると、きん張りがほぐれ、本当になつかしく思いました。ホームステイ先の方はレストランをやっていました。そのレスト

ランでは、ピザを作らせて頂きました。私は、ピザ作りなどしたことがなく、きん張したけれど、ピザ作りは、とても楽しくて、おいしくできました。

アックア・ヴィレッジでは、随行員の方も、通訳の方もいませんでした。日本語が通じるのは、私達だけになってしまったのです。言葉は大丈夫かな、困ったらどうすれば、と不安でいっぱいでした。でも、ちょっとした英語や、英単語を組み合わせで話しました。すると意外にも通じ、本当に安心しました。



▲ピサの斜塔前にて

ホームステイの方につれてもらったピサの斜塔、とてもかたむいていて、どうやたらこんなにかたむくのか不思議でした。のぼってみると、かたむいて

いることがよく分かりました。

お別れ会では、ソーラン節と上を向いて歩こうを歌い、ソーラン節は、チェルタルドの子と一緒に踊りました。みんなで息を合わせ、笑顔で踊り、とても楽しい時間を過ごすことができました。言葉は違うけれど、とても仲良くなることができました。でも、お別れ会が終わると、もうチェルタルドをはなれてしまうのだな、という悲しい気持ちがあふれました。それは、イタリアの方がとても良くして下さって楽しい時間を過ごせたからだと思えます。

お別れの時には、私達を家族のようにあつかってくれ、とても優しくして頂いた感謝の気持ちをこめ、「今までありがとう」とイタリア語で言い、別れました。バスの中では、チェルタルドの人が見えなくなるまで手を振りました。また絶対に会いたいです。

チェルタルドは、甘楽町に本当に似ている

ので、甘楽町にいるのではとってしまうこともたくさんありました。

ローマではトレヴィの泉やコロッセオ、真実の口など有名な所へ行きたくさんの文化にふれ合えました。歴史ある所へ行くとイタリアの歴史を身をもって感じる事ができました。

今回の研修を通して今まで狭い日本の中での生活しか知らなかった私は、イタリアの文化、歴史、そして生活習慣、食文化や人柄の違いなど、本場に行くことでしか体験できない貴重な経験をさせて頂くことができ、今までとは違った世界観を持つことができました。世界中の人は同じ人間で、例え言葉や生活習慣が違って同じ人間で、笑顔であいさつすることで通じ合えると身を持って体験できました。これからは自分も広い世界に目を向け、世界で私の大好きな日本と海外のかけ橋ができるようになりたいと思いました。



チェルタルド市 訪問の感想

甘楽中 2年1組
飯塚潤哉

僕は、中学生国際交流研修団員として、平成28年8月16日から26日までの11日間イタリアを訪問し、様々な異文化に触れてきました。

抽選でイタリア行きがきまった時は多くの楽しみと不安でいっぱいでした。事前研修などでイタリアについて知り、不安は少しずつ楽しみへと変わって行きました。

そして、8月6日にイタリアの研修団員とのお別れ夕食会でみんな良い人だと分かり、不安はすべて楽しみへと変わりワクワクしました。イタリアの人達はみんなフレンドリーで話しやすく気軽に会話できました。そこから出発の日まではあっという間でした。前日は興奮してしまっていて、あまり寝られませ

んでした。

そして、いよいよ出発の日。僕ははやく行きたくてウズウズしていました。町長さんの話をきき、出発しました。僕は飛行機が楽しみでした。僕は以前アメリカに住んでいたのに飛行機は初めてではなかったですが、あまり覚えていないので初めての長時間フライトでした。機内ではとても充実した時間を過ごしました。中でも離陸と着陸はGがかかって普段の体験では出来ないような経験が出来ました。

十二時間の長旅をおえて、ミラノに到着しました。ミラノのホテルでチェックインした後イタリアで最初の食事をしました。長旅の疲れがあつてあまりおいしく感じられませんでしたが。初日は時差ボケもなくよく寝られました。



▲ミラノのホテルにて

翌日はすごく楽しみにしていた最後のばんさんを見ました。自分のイメージとはだいぶ違って暗く静かな場所で開催がありました。ミラノ大聖堂にも行きましたが、あまり感動しませんでした。ミラノには一泊だけでその後バスでチェルタルドへ向かいました。

到着後すぐに現地の方々に歓迎会を開催していただきました。とても親切にいただき、ホストファミリーと面会しました。そのままホストファミリーのお宅に七日間滞在することになります。

チェルタルドの町の第一印象は、建物などは異なりますが雰囲気は甘楽町に似ていました。特に山並みが似ていました。

ホストファミリーでの食事はいつもたいへんおいしくて、特に印象に残っているのがTボーンステーキです。骨の右と左では食感が

違い日本では食べたことがありませんでした。

チェルタルド滞在中はフィレンツェやピサに連れて行ってもらいました。ピサの斜塔やフィレンツェ大聖堂はもちろん、ヴェッキオ橋やフィレンツェのオレンジ色の屋根の景色は圧巻でした。



▲サン・ジミニャーノにて

サヨナラパーティーでは、出し物を披露したりしました。食事は僕には残念ながら合いませんでしたが楽しいひとときを過ごしました。

翌日はホストファミリーとお別れをして、最後の訪問地であるローマにバスで向かいました。ローマまでの道中では景色の移り変わりが印象的でした。甘楽町から東京へ向かうような雰囲気でした。ローマは観光地であり、たくさんの見学地がありました。中でもヴァチカン市国のサンピエトロ寺院はミケランジェロの絵がものすごかったです。きっと気が遠くなるような年月をかけて描いたのだと思います。まさにカトリックの総本山という印象を受けました。ローマでは買い物も楽しめました。滞在中一日だけ団員全員でさわいだ夜も良い思い出になりました。

今回の第十六次チェルタルド市訪問中学生国際交流研修で、佐俣団長をはじめ、随行員の方々にはたいへんお世話になりました。また、町長さんをはじめ、関係者の方々にはこのような貴重な経験をする機会をあたえていただき、心より感謝いたします。イタリアでの経験を今後の生活に必ずいかすことをここに誓います。

でもやっぱり日本が良いです。



イタリアに行って

甘楽中 2年1組
井上 貴史

僕がチェルタルドに行きたいと思ったきっかけは、母も中学生の時にイタリアに行き、とても楽しかったと話を聞いたり、今もその時のホストファミリーと連絡を取り合っている事を知り、僕も行ってみたいと思っていました。

イタリアへ行く事ができ、良かった事は、イタリアの食事や文化を知ることが出来、人々とコミュニケーションがとれた事です。時々分からない言葉で戸惑ったりしたこともありましたが、僕のかたことのイタリア語と英語が通じた時は、とてもうれしく思いました。



▲お母さんのホストファミリーが会いに来てくれました

ホームステイに慣れてきたころ、受け入れ家族の子供達とウォーターパークに行きました。そこでは、皆でウォータースライダーに乗ったり、ソープサッカーや、一緒に泳いだり、言葉は通じなくても、おもいっきり楽しむ事が出来ました。

ホストファミリー宅の方には、ピサの斜塔やスーパーなどにも連れて行ってもらいました。スーパーでは、日本では見たことのない食べ物や、チーズの種類やハムの種類も多くあるのにはびっくりしました。

イタリアの食事は、朝は少なめで、いつもより足りない感じがしました。昼食や夕食は食べきれないほどのボリュームがありました。そして、時間をかけて話をしながら、ゆっく

りと食事をしました。食事はパスタが中心で量が多く、日本で普段食べているものより少し「しょっぱいのかな？」と思いましたが、どれもとても美味しかったです。中でも、自分達で作ったピザは特別美味しかったです。



▲サン・ジミニャーノにて

ミラノ、ローマでの観光では、教科書やテレビでしか見たことのない本物の絵や建築、彫刻を自分の目で見る事が出来ました。

僕が特にすごいと思ったのは、ミラノのサンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会のダヴィンチの「最後の晚餐」です。想像以上に大きく迫力がありました。多くの世界遺産を見学できました。ヴァチカン市国に行った時は、本当にこんな小さい国があるんだと感動しました。

また、ローマには多くの銃を持った警備をする人たちがいて、ドキドキしました。日本は治安が良いと言われていますが、本当なんだと、実感しました。

今回のイタリア研修では、言葉も文化も違い大変だと感じた事も多くありましたが、貴重な経験をさせてもらいました。

今後も、この経験を生かし、甘楽中とイタリア、チェルタルドの交流に協力していきたいです。

このような体験が出来たのは、沢山の方々の協力のおかげです。

甘楽町のみなさん、チェルタルドのみなさん、Grazie!ありがとうございました。

第16次の研修団員の一人として参加出来て本当によかったです。



楽しい思い出

甘楽中 2年1組
児玉大地

僕が、外国に行って、楽しかったこと、学んだこと、いっぱいあります。飛行機に乗ったのは、初めてなので、最初は、ドキドキしてました。イスについてのテレビも、最初は、まったく使い方がわかりませんでした。離陸するときに、ガタガタ鳴ったりしていたので、ちょっと「大丈夫のかなー」と不安になりました。でも、鳴り終わってから外を見たら、もう飛んでいたの、ビックリしました。飛行機内で、ご飯が出ると言われていたので、待っていたら、最初は、フライドポテトのちっちゃいやつが来て、これがご飯なのかと思ってビックリしました。でも、その後、しっかりご飯がまわってきたので、よかったです。僕は、初めての飛行機で、約十二時間三十分乗っていたので、ちょっとつかれてしまいました。



▲ピサにて

イタリアについては、バスに乗って、ミラノのホテルに行きました。ぜんぜん、イタリアの感覚がありませんでした。夜ごはんは、パンや生ハムなど、いろいろなものを食べました。ちょっと味が濃かったけれど、おいしかったです。まだ、イタリアの時間になれていなかったの、なかなか寝付けませんでした。朝起きて、朝ごはんを食べました。おいしかったです。その後、ミラノ市内を観光しました。サンタ・マリア・デッレ・グラ

ツィエ教会、ドゥオーモなどを見学しました。いろいろな物がすごかったです。昼ごはんを食べて、チェルタルド市に行きました。移動中は、うまくいくかとか、緊張していました。

広場について、ホームステイ先の人達と合流しました。みんなが、やさしくしてくれたので、すぐに仲良くなりました。家に行ったら、まず、トイレの場所や、部屋など教えてくれました。夜ごはんは、ホテルなどとは、ちょっと違い、いろいろな食べ物が、すごくおいしかったです。食べおわると、ゲームをして遊びたいか、ボールを使った遊びで遊ぶかをきかれて、僕はどっちでもよくて、「どっちでもいい」をなんて表現すればいいかわからなくて、ちょっと困っていました。でも、どっちか選ばなくては、アメリカなども困ってしまうので、ボール遊びをしました。ものすごく楽しかったです。その後もプールに行ったり、ピサに行ったり、パーティをしたりなど、あっという間でした。最後のお別れ会は、すごく盛り上がり、すごく楽しかったです。もう次の日には、この家を出るんだと思うとちょっと悲しかったです。次の日の朝に、お別れをしました。プレゼントなどいろいろくれたので、ものすごくうれしかったです。僕はローマに行かないで、まだここに居たいと思っていました。



▲大切な思い出ができました

ローマにつくと、ローマには、いろいろなものがあり、すごく驚かされました。でも、残りの二日間も、あっという間でした。帰りの飛行機にのった時は、「まだ、イタリアにいたい！」と、イタリアが恋しかったです。飛行機が離陸して、僕はタメ息をしました。それだけ、イタリアが楽しかったのだと思いま

す。帰りの飛行機は、もう慣れていたので、楽しかったです。

僕にとっては、この群馬をでてから、群馬につくまでが、全部楽しい思い出でした。



チェルタルド
帰国感想文

甘楽中 2年1組
関口 遼

僕は、第16次チェルタルド市訪問中学生国際交流研修団の一員としてイタリアに行きました。

最初は、バスで成田空港まで行きました。僕は、とても緊張していました。ですが、友達と話しているうちに緊張がほどけて、楽しくなってきました。それと同時に腹痛もしてきました。最初のトイレ休憩の時に僕は、トイレにこもってしまいました。ですが、なんとか出発時間にまにあいました。成田空港につく間、バスの中では、トランプで遊んでいました。

成田空港については、友達とずっと空港内を、見て回っていました。持ち物検査やパスポートを見せる時に、とても、ドキドキしました。飛行機に乗る間、時間があつたので、その間に、水を買ったりしてすごしました。

そして、いざ、飛行機に乗るとなった時に、初めて飛行機に乗るので、とてもドキドキしました。しかも親からは、離陸の時は、すごい「G」がかかるよ、といわれたので、なおさらです。離陸の時になって、飛行機が動きだした瞬間に、とても不安になってきてしまいました。離陸の時は、ずっとクッションを抱いていました。そして、目の前にあるモニターで映画を見ました。

目的地のミラノ空港まで12時間ずっと飛行機の中で、グダグダ遊んでいました。ですが、機内食は、とてもおいしかったです。着

陸の時は、予想以上に静かで、ビックリしました。

ミラノ空港は、とても人が少なく、ガラガラでした。なので、パスポートの検査もすぐすみしました。それに、なにより無事に地上についたことが、うれしかったです。

ミラノ空港から、ミラノの中心まで、2時間ぐらいバスに乗っていました。ミラノの中心についたら、すぐ、ホテルに入りました。そして、すぐに、部屋に行けたので、とても嬉しかったです。

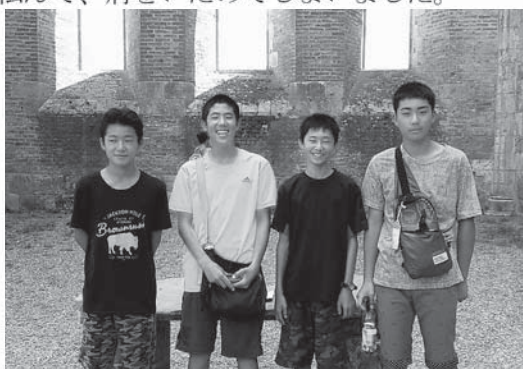
次の日は、チェルタルドに行くため、またバスに乗りました。そして、そこから、4時間近く、バスに乗っていました。途中のパーキングエリアでの休憩は、とても楽しかったです。

チェルタルドについては、ほとんど疲れで話を聞いていなくて、歓迎会の時も、ほとんど話を聞いていませんでした。

ホームステイでは、皆、良い人で、とても楽しかったです。ご飯はとてもおいしくて、とても過ごしやすかったです。

フィレンツェでは、よくテレビで見る物が間近で、しかも、本物が見れてとてもうれしかったです。

プールでは、広いプールで、とても興奮しました。ですが、サッカーをしていたときに転んで、肩をいためてしまいました。



▲色々な場所に連れて行ってもらいました

ローマでは、コロッセオやヴァチカン市国に行きました。それと、トレヴィの泉と真実の口に行きました。それからホテルへ行き、2泊して、ローマの空港から飛行機に乗って、日本へ帰りました。帰りは11時間で行きより、1時間早かったです。



▲真実の口にて

日本に帰ってきて初めての食べ物は、モスバーガーのチキンバーガーでした。とても、おいしかったです。そして、甘楽町についたときは、とてもホッとしました。

僕は、この第16次チェルタルド市訪問中学生国際交流研修に参加してとてもよかったと思っています。そして、なにより自分も、変わったと思っています。もし、次も参加できるなら、したいぐらいです。



たくさんの思い出

甘楽中 2年1組
山崎美奈

私は、第16次チェルタルド市訪問中学生国際交流研修団として、イタリアに行くことになりました。夏休みの前半は、宿題やイタリアに行く準備で忙しかったです。宿題もほとんど終わり、あと四、五日ぐらいでイタリアに出発するとなると、チェルタルドでの生活を毎日、想像していました。

出発日当日私は不安な気持ちよりも、楽しみな気持ちの方が大きかったです。バスに乗って成田空港へ。バスの中では、寝ている人もいれば、楽しく話している人もいました。成田空港に着いたときは、あと何分かで日本を離れるんだなと思い、少しだけ、寂しかったです。でも、それと同時にイタリアに近づいている感じがして、楽しみでもありました。

飛行機は、イタリアの飛行機で、乗務員さんも、ほとんどがイタリアの方で、それがまた私をワクワクさせました。飛行機の中では、映画を見たり、本を読んだりして過ごしました。お昼は、イタリア料理を食べました。約十二時間の飛行を終えて、ミラノのマルペンサ空港に着きました。空港の外に出て私が思ったことは、ゴミがたくさん落ちているなでした。空港にバスが来ていて、そのままホテルに行きました。ホテルで夕食のパンをもらい部屋で食べてお風呂に入り、一日目は終わりました。

二日目は午前中に教会などを回り、お昼はレストランで食べました。すごく量が多くて、食べるのが大変でした。



▲ミラノのホテルにて

お昼を食べた後、バスに四時間くらい乗ってチェルタルド市へ。チェルタルド市に着くと対面式をしました。私は、イレーネという女の子の家にホームステイをすることになっていたのので、そこで初めてイレーネのお母さんに会いました。対面した後みんなでお菓子やジュースを食べてから、ホームステイ先の家に行きました。私たちは、イレーネの家に着いて、荷物などを置かせてもらった後、日本から持ってきたお土産をあげてから、お風呂に入り、お夕飯でパスタを食べてから、その日は寝ました。

チェルタルド市滞在二日目は、午前中歓迎式と折り紙交流があって、みんなでハートやお花を作りました。午後は、サン・ジミニャーノという観光地に連れていってもらい、そこで、世界一のジェラートを食べさせてもらいました。世界一というだけあってすごくおいしかったです。この日の夜、初めて夜出か

けました。家の近くをみんなでお散歩しました。人がけっこうたくさんいて、イレーネの祖父母にも会いました。

三日目は、研修団全員で電車に乗り、フィレンツェまで行ってウフィッツィ美術館を見学し、レストランでお昼を食べてチェルタルドに帰りました。四日目は、プールに行きました。スライダーがたくさんあって、全部乗りました。すごく広くて、たくさん遊んだら、日焼けしました。五日目はピサの斜塔に連れていってもらいました。本当に傾いていました。すごかったです。夕方から、ガブリエレとリカルドの家に行って、本物のかまで焼いたピザを食べさせてもらいました。六日目、午前中はショッピングに行かせてもらい、午後は、中世の遊びで、パンを投げてかごに入れる遊びをしました。パンを使った遊びなんてヨーロッパばいなと思いました。夜のお別れ夕食会はみんなで食事をして、いろいろな話をしました。最後に上を向いて歩こうとソーラン節を踊り、盛り上がり過ぎて終わったのが十二時すぎでした。

七日目の朝、私たちは、お礼を言ってチェルタルドを後にしました。バスでローマに行き、市内を観光しました。イタリア滞在の九日目も観光やショッピングをしました。夕食を食べている時、みんなで、もう一度チェルタルドのみんなに会いたいと言っていました。



▲ピサの斜塔前にて

十日目、真実の口などに行き、空港へ。飛行機に乗って日本に帰って来ました。バスに乗り甘楽町に着きました。家族に会って安心しました。今回イタリアに行き、とても良い体験をさせてもらいました。私は、将来またチェルタルドの友達に会いに行きたいです。



イタリア研修で 学んだこと

甘楽中 2年2組
小 柏 魁

「グラッツェ」この言葉をこの研修に関係するすべてのみなさんに伝えたいです。

僕は、海外へ行くことをあまり望んでいませんでした。その理由として三つあります。

一つ目は、英語が苦手と言葉の壁があるからです。公用語である英語が話せなければ、もちろん他の国の言葉なんてしゃべれません。

二つ目は、テレビや新聞でよく耳にする無差別テロ事件がひんぱんにあることを知っているからです。



▲ローマにて

三つ目は、空を飛ぶ飛行機に乗るのが不安だからです。「落ちたら、どうしよう。落ちて命がなくなってしまうたらどうしよう。」という気持ちでいっぱいでした。実際、飛行機に乗ったことは赤ちゃんのときにあるそうです。しかし、物心がついてからは一度も乗ったことがないので飛行機事故を考えると本当に嫌でした。イタリアに向けて日本を出発する前日には、家族に遺書を書いていくと言ってしまったくらいです。

このような僕が、イタリア研修団員に応募したきっかけは、四年前に研修団員としてイタリアへ行った姉と小学校四年生のときにアメリカでホームステイを経験した兄の強い希望です。すでに、海外での生活を体験している姉と兄はその楽しさをぜひ僕にも味わってほしいということで、おすすめしてきました。

そんなことから、トントン拍子に話が進み、当選し、イタリアへ研修団員として行くことになりました。

それから、ホストファミリーとして、イタリアの男の子三人を受け入れることも決めました。ホストファミリーになることは、家族中が大賛成でした。それは、姉のときにも受け入れた経験があるからです。また、今年の夏は、アメリカの大学生も受け入れて、国際交流の楽しさを味わえたからです。言葉の壁は、そこで少しだけなくなりました。受け入れたイタリアの男の子三人とはすぐに打ち解けることができました。難しい英語の文を話さなくてもかたことの英語や単語、ジェスチャーで心が通じ合いコミュニケーションがとれました。彼らが帰国するときには、「また向こうで会おう。」と握手をかわしました。だからイタリアへ行くことが楽しみにつながりました。

イタリア訪問では、まず仲よくなった子達に再会できたことが何よりもうれしかったです。僕のホームステイ先では、ホストファミリーがあたたかく出迎えてくれました。

僕が、イタリア滞在中に一番心に残ったことは、ホストファミリーと一緒にケーキやカントチャーニを作ったことです。カントチャーニ



▲カントチャーニを作りました

は、イタリアの伝統的なおかしで、僕のお母さんが大好きだということを伝えたら日本語のレシピまで用意してくれました。その優しさに感動しました。

次に、心に残ったことはイタリアの建造物や絵画、芸術作品などです。教科書で見た写真が目の前に広がったときは想像以上の驚きがありました。姉からもいろいろ話を聞いて

いましたが、自分の目で見るのは特別です。

イタリアと日本の文化の違いもいろいろとありましたが、一つだけ同じだなと感じたことがあります。それは、人の優しさ、温かさ、思いやりの心を持っていることです。

心が通じ合えばどこの国の人でも仲よくなれると思います。僕は、この体験を通して言葉の壁がなくなりました。それと同時に平和を願いこれからもずっと姉妹都市として交流を深めて行ってほしいと心から思います。

貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



イタリアに行って

甘楽中 2年2組
上 條 透 聖

ぼくがイタリアに行って思ったことは、単純に楽しかったということです。普段は自分がふれない異国の文化、食などの色々な初めてがたくさんあって楽しかったです。プールに行く前の日には風呂に入らないとか、おどろくようなことがありました。

最初は不安もありました。くじでイタリアに行けることになったのはうれしかったけど、ちゃんとしていられるか、じゃまにならないかとか頭の中がパンクするかと思いました。

それから、イタリア語の勉強がありました。日本とは違う言葉、どれだけむずかしいのか心配していました。だけど実際は、ローマ字と似ていてかなり分かりやすく安心しました。イタリアに行っても恥ずかしくないように、がんばって覚えようと思いました。おかげで少しはイタリア語を覚えることができていました。がんばって良かったと思いました。

そして、ついにイタリア人が日本に来ました。家に来た二人は両方女性で、とても恥ずかしかったです。けど、少し家で過ごしているうちに、少しずつ慣れていきました。です

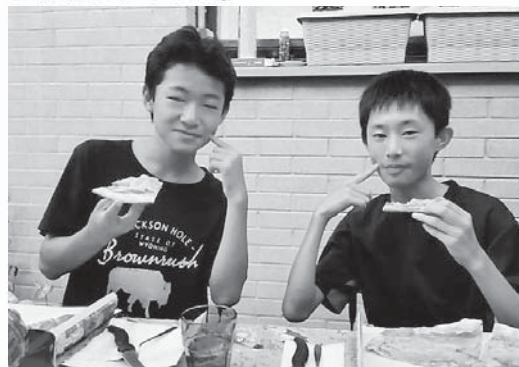
が言葉が伝えきれないこともあり、とても大変な毎日でした。結果的にほんやくを使うことになってしまって、少し悔しかったです。けど、ほんやくは役に立ってくれたので、本人たちのやりたいことなど、出来る事が増えたのは良かったです。ゆかたを買ったり、プールに行ったりと、イタリア人との毎日はとても楽しかったです。最後に別れるときは、少し悲しかったけど、また会えるなと思いました。



▲楽しかったイタリア

ぼくらがイタリアに行くときは、とてもワクワクしていました。けど、飛行機に乗ってみると、全然ちがいました。飛行機は初めてではなかったけど、とても時間が長かったので大変でした。ですが飛行機の中でもトランプなどは出来たので、楽しかったです。

そして、イタリアが見えてきました。そのときはすごくワクワクして心臓がバクバクしていました。イタリアの料理はどれだけおいしいのか。ちゃんと失礼なく過ごせるのだろうか。不安と期待が一気におしよせてきて、でも楽しみでした。



▲Buono !

イタリアにつくと、そこには日本語が通じないイタリア人、見たこともなかった風景な

どで完全に別の世界に来たと思いました。

それからイタリアを見て回って、面白いものもたくさんありました。初日のホテルに着くころには、とても疲れていて、その日はすぐにおねてしまいました。

次の日チェルタルド市で、ホームステイの受入家庭に会い、やさしそうな人でとてもホッとしました。それから、ホームステイでの生活が始まりました。とても緊張しましたが、ですが、優しく接してくれて、とても安心でした。

いのししのパスタはとてもおいしかったです。サッカーもしたし、とても楽しかったです。またイタリアに来たいと思えました。いつかまた、ちゃんと仕事をしてイタリアに行つて、今度はもっと広く見ていきたいです。



イタリアの思い出

甘楽中 2年2組
富岡 帝貴

フライト12時間を終えてイタリアに降り立ったとき、僕は「これが海外か」と感動しました。鼻の高い周りの人々、右側通行の道路などを見た時、やっと海外に来たと実感しました。

ミラノ観光が終わりチェルタルド市へバスで向かっているとき、僕は不安でいっぱいでした。「7日間、しっかりやれるだろうか」や「言葉が違って大丈夫かな」とばかり考えていました。友達とも「大丈夫かな」と何度も何度も話していました。でもそんな不安は対面式ですぐに消えました。笑顔で優しく僕を迎えてくれたのです。それまでガチガチだったのが一気にほぐれました。その後、僕達にステーキをごちそうしてくれました。今まで食べたことないくらいとてもおいしかったです。

毎日イタリアのお父さんがケーキやスイー

ツを作ってくれたので毎日食べられました。夕食はいつもベランダで食べていたのできれいな夜のチェルタルド・アルトの街が見放題でした。みんなで作ったピザもおいしくてみんなでサッカーやバレーをしたのも思い出です。

ウフィッツィ美術館やヴァチカン美術館では絵画や石像などでイタリア、ヨーロッパの歴史や文化を身近で感じ取ることができました。

僕は美術館に行くこと自体にあまり関心がありませんでした。しかしイタリアの美術館に行くとなぜだかとてもわくわくしました。



▲ウォーターパークにて

イタリアのウォーターパークは広すぎて驚きました。まずどこに行こうかと悩み、スライダーも8種類あって悩みました。時間を忘れて遊んでいました。広いプールではイベントがあって、そのプールの従業員さん達が音楽に合わせて踊り始めました。するとさすがイタリア人といわんばかりに全員踊り始めました。なので僕も一緒に踊りました。心が晴々してとても楽しかったです。突然従業員さん達が水鉄砲をプールに向かって十個ほど投げて来ました。僕はその内の一個をなんとか取ることができました。遊び疲れて家に戻るとすぐに寝てしまいました。

次の日、イタリアの同級生達がおみやげを持ってきてくれました。あまりに多くて驚きました。それから日本に来て驚いたこと、イタリアに来て感動したことなどを語り合いました。

最終日前日、最後に全員で中世の遊び、夕食会をしました。中世の遊びはどんな物なのだろうと考えていましたが、まさかパンを籠

に投げ入れるとは思っていませんでした。さらにパンが硬すぎて手が痛くなりました。海外の昔の遊びを体験できてとても良かったです。夕食会の料理はどれもおいしくて全員で取り合うほどでした。最後の全員でのソーラン節。とてもいい思い出です。



▲中世の遊びにて

最終日、別れるのがとても悲しかったです。イタリアのお母さんは「別れたくない」と泣きながら言ってくれました。僕も仲間や家族と別れるのがつらかったです。でも最後に、「ありがとう」と伝えることができました。

イタリアの建造物や歴史ある町なみなどが見ることができてとてもいい経験になりました。10日間イタリアに滞在したことはかけがえのない貴重な経験となったのと同時に最高の思い出になりました。



Ci vediamo !

甘楽中 2年3組
小柳 結愛

十二時間のフライトを終え、空港を出た時そこはもうイタリアの空気でした。たくさんの思い出と共に帰国しましたが、今回は特に印象に残った「文化の違い」「美術館等の見学」「チェルタルドの方々との交流」について報告したいと思います。

①文化の違いについて

ホストファミリーと写真を撮った時のこと

です。おじいさん、おばあさんも遊びに来てくれて、一緒にカメラの前に座りました。高校生のイレーネさんは、こんな風に説明していました。「ジャポネーゼは写真を撮る時、こうするんだよ。」そして、指をピースの形にしました。日本人は、すぐにピースをするけれど、イタリアでは特にそんな習慣はないそうです。

ほかに驚いた事は、車の速度です。普通の道路でも八〇キロ以上出していました。シートベルトをしていても揺れるぐらいです。通訳の方から、日本とは二〇キロくらい感覚が違うよ、と教えていただきました。



▲ピサにて

食事についても違います。私の家では、ホストファミリーとしてイレーネさんとマティルデさんの受け入れをしたので、イタリアの人が朝とても少食だとは分かっていました。それでも、レモンティーを一杯だけ、とか、ポテトチップスのみが普通ということに、あらためてビックリしました。日本の朝食の量を知っていたお母さんが、私達のために、ソーセージやパンやピザを出して気を遣ってくれました。

そのかわり、朝早く仕事に出かけたお父さんは、お昼には帰宅して家族でゆっくり、リゾットなどの昼食をとっていました。

私達にとっては家族全員で平日に昼食をとるということは驚きでした。

又、ホストファミリーの方に、ピサの斜塔やサン・ジミニャーノに連れて行っていただきました。たくさんの人がいて、思った以上にピサの斜塔が傾いていることにビックリしました。この近くのお店で食べたピザと、パンツェロツェイ（揚げピザ：中に羊の肉入り）

が一番美味しかったです。サン・ジミニャーノでは、世界一のアイスクリーム屋さんという所でジェラードを食べました。イレーネさんが注文してくれるということで、オレンジ味とチョコレート味をたのんだつもりでしたが、チョコレートのアイスが二つ出てきました。注文と違うな、と思って口に入れると、なんと中には小さなオレンジの粒が入った、“オレンジ風味のチョコアイス”だったので。伝えるって、難しいなと思いました。ここは、塔の街という通り、東京のビル街のようでしたが、建物がレトロで、石畳を歩く所が異国を感じました。



▲フィレンツェに向かう電車内にて

②美術館等の見学について

私が感動したのは、イタリアの美術館は、作品だけでなく町並みや建物そのものが、既に芸術だったことです。フィレンツェで、ウフィッツィ美術館を見学した時、建物の歴史を感じました。階段も昔つくられたままなのか、段差が浅く斜めになっていました。とても疲れましたが、自分が十五世紀のイタリアにいるような気持ちになれました。教科書に載っていた“ヴィーナスの誕生”を観ることができて良かったです。又、大切な絵なのに割と無防備に飾られていて写真を撮れた事もうれしかったです。来年、修学旅行の時に、京都でこのイタリアと同じような気持ちになれるといいなと思いました。

③チェルタルドの方々との交流について

最後のお別れ夕食会の時は、ずっと練習してきた「上を向いて歩こう」と「ソーラン節」をやりました。イタリアの子達は、私達の踊りを見た後、一緒に踊ってくれました。イタリア人のノリの良さに感動しましたが、別れ

の悲しみも混ざった、ステキな夜でした。

私も家で大切に育てられていますが、イタリアでも、愛があふれていました。母の料理と家族愛は、全世界共通だと実感しました。



夢のイタリア

甘楽中 2年3組
小山 聖 愛

「いってきまーす。」みんなの声とともに成田空港行きのバスは、走り出しました。最初は全然実感はなく、前日寝る時は全然寝れず何回も起きたり寝たりを繰り返していました。

バスの中、みんなで騒いだりしてその途中両替していたユーロが手元に渡されました。日本と違って色が明るくて、その時少し実感が湧きました。

成田空港に着いた時、人の多さに驚きました。色んな国の人がいったりして迷子になりそうな勢いでした。



▲チェルタルド・アルトにて

初めての飛行機。緊張と不安が入り混じっていました。でも機内食も一度は食べてみたかったので食べれてうれしかったです。そして初めて乗っての飛行時間は十二時間。初めてにしてはとても長かったです。残り二時間となったところで着陸までが長く感じました。そして、ついに着陸。長いフライトがようやく終わりました。気圧が高いところから低いところに降りたので耳がとても痛くなりその

後も痛くて大変でした。

イタリアと日本との時差は約七時間。イタリアに十八時半に着いた時は、まだ昼間のようによく晴天でした。日本は午前一時半で真っ暗だということにそれに比べてイタリアは明るかったので、この時差ですごく興奮しました。

ホストファミリーとの対面式は、とても緊張しました。しかし、思っていたことがふきとばされるぐらいものすごく優しく緊張も少しほぐれました。

次の日のホームステイ一日目、朝ご飯も軽食で、「本当に足りるの。」というぐらいでした。この日は、他の全ホームステイ先の子達と折り紙をして交流しました。そしてとくに印象が強く残っているのはホームステイの子達と日本に来た子達と大きなプールに行った事です。日本とまた違ってスライダーも急で怖かったです。でも何度も乗りたくなります。プールではピザを食べたりフルーツを食べたりしながら一日中遊びました。この日は本当に疲れました。

ホームステイ先では、ジェラートを3回ぐらい食べに連れていってもらいました。ところどころにジェラート屋があって日本にも「近くにあったらいいな。」と思いました。

食事や夕食はとくに品数が多くその後には毎回必ずフルーツも出てきました。毎日お腹いっぱいでした。ホームステイ先の子は私より小さくて十一歳と二歳の子でした。二人がものすごくテンションが高く、いつも笑っていました。一緒に手をつないだりしてもものすごく可愛かったです。



▲お揃いの衣装で中世の遊びに参加しました

そして、最終日にはパンをつなげてカゴに

入れるというゲームをチームにわかれてしました。意外とパンも固くて、重く投げるのも大変でした。その夜、この日が最終日になったためお別れ会をしました。食事をして、その後に「上を向いて歩こう」を歌い、ソーラン節を踊りました。ソーラン節二回目はイタリアの子達と踊りましたが、さすがに二回目はきつかったです。その次にみんなでイタリアの踊りをしました。とても面白く楽しい夜でした。なので、「まだ一緒にいたい」と思っていました。行く前は、九泊十一日は長いなと思いましたが、ものすごく短かったです。

翌日、いよいよ別れの時でした。本当に辛かったです。みんな最後まで手を振ってくれました。本当に楽しい時間を過ごさせてもらい良い経験でしたし、本当に感謝でいっぱいです。この経験は私の大きな自信になり、大事な宝物です。



イタリア研修に行って

甘楽中 2年3組
富岡 大貴

僕は、この研修で、本当に色々なことを学びました。そして、色々な初めての事がありました。そして僕は、この研修に参加して本当によかったと思います。

まず、初めて飛行機に乗ることができて良かったです。初めて聞いた飛行機のエンジン音は、今でも耳に残っています。そして飛行機が飛んでいる時は、ずっと昼間のようだったので、なんだか不思議な感じでした。そうして、イタリアに着いたとき、その瞬間は、あまり実感がわかなかったけれど、空港の中の看板を見たとき、アルファベットのものばかりだったので、やっぱりイタリアなのかと思いました。そして、外に出たとき街並みも違うし、なにより、歩いている人が日本人の

顔とは違ったので、歩いているだけでとても楽しかったです。

そして、次の日、いよいよチェルタルドに行きました。僕の家は、チェルタルドの研修団の人を受け入れしていたので、見たことのある人の家に行くのだったけれど、受け入れた時、僕は、全然話すことが出来なかったから大丈夫かなと、不安と緊張ばかりでしたが、家族のみんなが優しく、笑顔で迎えてくれたのでとても嬉しかったのを覚えています。その後、家に行きました。家に入る時、靴は脱がないんだなと思いました。でもやっぱり家に入って靴を脱ぐ所がないのは、違和感がありました。そして家の中が石で出来ているのも、不思議な感じでした。その日の夕食は、名前は分からない肉と野菜の入ったスープでした。なんだか僕は、味が薄いかなと思いました。その後、外で、ボールあそびをしました。夕食の後に外であそぶことなんて日本ではこんなことないからとても面白かったです。

そして次の日、他の家庭の人達が僕がホームステイをしている家に来ました。みんなが来てから、全員でピザを作りました。初めてピザを作りましたが、上手に出来て良かったです。ピザの味も日本とは少しちがいました。

次の日、電車で、美術館に行きました。その美術館に、歴史の教科書やテレビで見たことのある、ミケランジェロのダビデ像があったので、驚きました。他にもたくさん像があったけれど、それらは、よくわかりませんでした。



▲ホームステイ先にて

そして次の日、ウォーターパークに行きました。日本によくある流水プールのようなものは、ありませんでした。ただスライダーが

たくさんあって楽しかったです。あと波の出るプールで、大人数でダンスをしていたので僕達も参加しました。日本にはないので珍しいなと思いました。

そして、次の日、買い物に行きたいとリクエストしたら、日本でいう商店街のようなところに連れていってくれました。そこでお土産をたくさん買いました。そしてホストファミリーのお父さんは、その広場のような所で人形師の仕事をしていると言っていました。人形師の仕事はよく分からないので見てみたかったです。



▲ピサにて

そして最後の日、午前中に、ピサのしゃ塔に連れていってくれました。思っていたよりも曲がっていて、登っているときは不思議な感覚でした。そして、午後には中世の遊びという事業がありました。パンを投げて渡していかごに入った数を競うというもので、僕達は負けてしまったけど楽しかったです。そして夕食会は、色々な料理が出たけどどれも美味しかったです。そして最後にみんなで、上を向いて歩こうを歌って、ソーラン節を踊りました。練習したおかげでふつうに踊りや歌ができました。

次の日、ローマへ行きました。ローマでは、コロッセオや遺跡、真実の口など色々な所へ行きました。

僕は、この研修で日本と世界の他の所は、何もかも違うと知りました。だけど、そこにいるのは人で、言語が違ってても、伝えようと思えば伝わるのが分かりました。しかもホストファミリーの方は、とても楽しかったのでまた行ける機会があれば会いたいなと思いました。



イタリア研修を通して

甘楽中 3年2組
金田 昂大

「事故にあうなよー。気を付けろよなー。
…あ、あとお土産をよろしくなー。」

出発の前日、僕が荷物の最終チェックをしていると、事故にあえと言っているかのような呪いの呪文がラインで送られてきました。一緒に行くはずだった友達からです。

僕は学校で先生に、

「町が少しお金を出してくれるから安く行けるぞー。こんな良い事はないぞー。俺も行きたくらいだ。少しでも興味があるやつはプリントよく読んでみろー。」

と言われプリントをもらいましたが、一切興味もなく、チラッと目通ししたぐらいでした。しかし、数日後、ラインが来ました。

「なあ、イタリア行かぬ？」

一言。本当に一言送られて来ました。

仲の良い友達が行くなら楽しそうだし、一つの家に2人行くっぽいから安心だな、と思いダメ元で親に相談してみました。すると、あっさり、まるで高崎と聞き間違えたのでは？と思うくらいあっさりとオッケーしてくれました。こうして僕の初海外渡航の行き先が決まりました。

でも、その友達とイタリアに行くことは、ありませんでした。

たしかに最初は、一切興味がなかったですが、事前学習や、親、一緒に行くことになった友達と話してだんだん「イタリア」という国に興味がわいてきて、初めて海外に行くという自覚も出てきました。そして、いざ出国当日となると、興味しなく期待でいっぱいでした。

そして、イタリアに着いてからの思い出は、一番は、やはりホームステイについてです。

僕は、同学年の丸澤君と一緒に、15才と11才の男の子がいる家に6泊させてもらいました。お父さんも、お母さんもとてもやさ

しく、持って行ったお土産も喜んでもらえました。さらに自分達に革財布のプレゼントまでもらいました。そして、色々な観光地にも連れて行ってもらいました。



▲ホームステイ先にて

初めに連れて行ってもらったのは、ピサの斜塔です。今までテレビでは、何度か見たことがありましたが本物を見るのは初めてだったので本当にななめになっていてびっくりしたのを、よく覚えています。帰りには、そのままビーチに寄ってきました。その日の夕食は海の家のような所で食べたのですが、そこで食べたリゾットが歯ごたえがあるなどというものを乗り越して「生」でした。一緒に行った11才の子も「これ生だ！！」と言っていたのでおそらくイタリアの中でも極端な方だったのでしょう。

その他にも、ビーチに連れていってもらったり、プール、花の都フィレンツェなど色々なところに連れて行ってもらいました。

そして最後の日の夜にパーティがおわり家に帰るとすぐにUNOが始まり深夜3時頃までしていました。不思議とぜんぜん眠くならず楽しくUNOをしていたのをとてもよく覚えています。



▲チェルタルド出発の朝

このように色々な事が起こった9泊11日のイタリア研修団でしたが、とても楽しく、ためになるものとなりました。出発前の宣言通り色々な事を学べたし、イタリア人ともとても仲良くなれました。

さらに、イタリア人だけではなく、今まで話したことのなかった2年生とも仲良くなれたと思います。そしてその人達と学校で顔を合わせるとあいさつしてもらえるようになりました。とてもうれしかったです。そして今回ホテルに居た、たったの3日間で自分がまだまだ自立出来ていないことも知ることが出来ました。

今回のイタリア研修では本当に色々な事が学べました。今後の自分の成長、生活にこれらのことを生かしていきたいです。本当に今回のメンバーで、今回のイタリア研修に行けてよかったです。



イタリア研修を終えて

甘楽中 3年2組
鈴木 凜花

私は、十一日間のイタリア研修を通して、日本とイタリアの文化の違いを身をもって感じることができました。

去年の中国の時とは違い、ホームステイをしたことで、直接イタリアの文化や日本との生活の違いを学ぶことができました。

イタリアに着くと、聞いたことのないような言葉が飛び交っていて、少し不安になりました。普段話している日本語では全く会話ができなかったのですが、ジェスチャーや英語で伝えることで、お互いの国の言葉は、分からなくても、コミュニケーションをとることができました。

私はホームステイ先で、お寿司やおにぎりを振る舞いました。その時、おはしの持ち方や日本独自の食べる前の挨拶などを教えてあ

げました。普段当たり前のようにしている事が、イタリア人にとってはすごく難しいことだったり、珍しいことだと感じました。



▲折り紙創作アート交流にて

他にも、イタリアの街並みは、日本と大きく違いました。イタリアの街並みは素朴で、おしゃれでした。歴史ある建物がたくさんありました。サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会には、レオナルド・ダ・ヴィンチが描いた「最後の晚餐」がありました。「最後の晚餐」は、国語の授業で習い、知っていたことで、他の美術館で見た絵より、感動が大きかったです。想像していたものよりはるかに大きくて驚きました。そこは、チケットを取るのも大変で、絵を見ていられる時間も限られています。それくらい貴重な経験をすることができました。

私がこのイタリア研修で一番楽しかったことは、ホームステイです。ホストファミリーはすごく明るく、温かい家族で、私たちを本当の家族のように受け入れてくれました。ホームステイでは、イタリアの食文化と生活様式を学ぶことができました。朝食は、ビスケットなど、お菓子の様なものを食べました。日本は、ご飯やお味噌汁などを食べる習慣があるので、その違いは、とても驚きました。それと、本場のピザとパスタはすごく美味しかったです。一人一ホール食べるのも日本では、なかなかしないことなので驚きました。日本では、毎日食べているお米をイタリアでは、ほとんど食べないのも、日本とイタリアの文化の違いなんだなと思いました。生活様式の違いでは、「イタリアは湯船に入らない」や、「トイレとお風呂が同じところにある」や、「家の中でも靴を履いて過ごす」などです。

日本では、だいたいの家庭でお風呂にお湯をためて入ると思いますが、イタリアはシャワーだけで済ませていました。

ホストファミリーには、プールに連れてってもらったり、ジェラートをご馳走してもらったりしました。プールは、すごく楽しく、さらにホストファミリーと仲良くなることができました。ジェラートは、ほとんど毎日食べていました。今までに食べたことのない位美味しいジェラートでした。それは、日本にいたらなかなか食べることはできないと思うので、イタリアのジェラートをたくさん食べることができて嬉しかったです。

日本のお土産もすごく喜んでくれ、日本の文化を少し分かってもらえたような気がして嬉しかったです。



▲楽しかったホームステイ

ですが、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。ホームステイ最後の日の夜に、イタリア語で手紙を書きました。それを出発の時に渡したら、すごく喜んでくれて私まで嬉しかったです。

今回の研修で、イタリアに友達ができました。すぐに会いに行ける距離でもないし、言葉の壁もありますが、メールなどをして、これからも交流を続けていきたいです。



人の温かさ

甘楽中 3年4組
中嶋 野乃花

私は今回の国際交流で多くの事を学びました。言葉が通じなくても一緒に生活できるし、楽しく遊ぶこともできました。またたくさんイタリアの芸術、文化を見ることができました。

私はイタリアに行く前、あまり不安はなくそれより楽しみの方が多かったです。飛行機の中は十二時間と長めで少し大変でした。いざ、イタリアに着いてみるとイタリアの独特なスパイシーな匂いがしました。

初めはミラノに行きました。街並みからして日本とは違い、歴史を感じられました。

ホームステイでは、言葉の壁を越えて生活することができました。家に着いたときの第一印象はとてもおしゃれということでした。中の壁も自らペンキで塗ったそうで、絵や写真、日本のものなどがたくさんあってきれいでした。



▲チェルタルド・アルトにて

私のホストファミリーはレストランを営んでいてとても料理が上手でおいしかったです。そのレストランにも連れていってもらいました。内装はやはりおしゃれでテレビで見えるような外国のレストランで見惚れてしまいました。そこでは一緒にピザを作りました。生地をのばして自分の好きな物を盛りつけたりしてすごく嬉しかったです。しかもすごく美味しくてペロッと食べてしまいました。

その後は、ヴィルジーニアとチェルタルドの街を散歩しました。夜でも小さい子が遊んでいて驚きました。ヴィルジーニアのお友達と仲良く話したりとても楽しかったです。

皆で行ったプールはすごく楽しかったです。すごく広くてスライダーがたくさんあって驚きました。そのスライダーには名前がついて、「ワサビ」「神風」など日本のことが好きなのだと思います。みんなで泳いだり、サッカーゲームしたりすごく楽しい時間を過ごすことができました。ですが、日焼けがすごくて顔と体が真っ赤で大変でした。

ピサの斜塔にも行ってきました。斜めになっているところに手をそえて遠近法を使って写真を撮ったり、ピサの上のにのぼったりしました。



▲お別れ夕食会にて

最後の日のお別れ会の日は、ソーラン節もよくでき、皆で写真を撮ったりしました。はっぴも気に入ってくれて良かったです。

お別れの朝、私は皆さんと離れるのがとても辛かったです。まだまだいたいと思いました。私は最後、ホストファミリーの方や友達とハグをするとき、悲しくなって泣いてしまいました。イタリアと日本は遠くて当分会えないと思うととても悲しかったです。また会えることを望んで私はバスに乗りました。

最後はローマに行って終わりました。

私がイタリアに行って学んだことは、文化や伝統もありますが、中でも一番なのは、人の温かさと思いました。よく日本人は親切だと言われていますが、あまり変わりませんでした。みんな優しいし、とても親切でした。約一週間くらい一緒に生活してやっとなれてきて、会話も弾むようになったのに別れは寂

しかったです。大人になったらまた会いに行こうと思います。

貴重な経験ができてとても良かったです。



イタリアと思い出

甘楽中 3年4組
丸澤 治樹

ホームステイ最終日、僕はこの家にホームステイできてよかった、何よりイタリアに来られてよかったと思いました。

僕はこのイタリアの十一日間でたくさんのことを学ぶことができ、楽しい思い出もつくることができました。その中でもホームステイは僕の心の中にとっても印象的に残っています。

僕は物心ついてからの海外は初めてでやっぱり不安な気持ちがありました。そんなわけで出発の前日はぜんぜん眠れませんでした。そして、出発の日。役場をバスで出発し、成田空港に着きました。空港は初めてだったので、「うわー、広い」と驚いてずっとキョロキョロしてしまいました。飛行機も初めてだったので、離着陸の瞬間はととてもワクワクしていました。



▲ホストファミリーと

イタリアに到着したのは夕方でした。初めに驚いたのは日の長さでした。もう七時なのにまだ明るい！というようなことが何度もありました。ミラノのホテルではとても疲れて

いたので、すぐに寝てしまいました。

ミラノではドゥオーモやサンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会などを見て回りました。ミラノの建物は美しいものばかりでした。

ミラノ観光の後、チェ市で対面式をしました。ホストファミリーの皆さんは笑顔で受け入れてくれてとてもうれしかったです。僕はガブリエーレとリカルドという兄弟の家にホームステイをしました。2人の家は市の郊外にありとても眺めのよい三階建てのきれいな家でした。初日はとても疲れていたのですがすぐに寝てしまいました。



▲中世の遊びで優勝しました

2日目から本格的にホームステイが始まりました。初めのうちはあまり会話もできませんでした。でも、ホストファミリーの方も英語を使ってくれたのでなんとか話せました。自分の英語が初めて通じたときはとてもうれしかったです。

また、ホームステイ中にはさまざまなところに連れてってもらいました。ピサの斜塔は初めて行ったので何枚も写真を撮ってしまいました。海では、夕日が地中海に沈むのを見ながら夕食を食べたり、リカルドと遊んだりしてとても楽しかったです。他にも青年使節団やホストファミリーのみんなで、フィレンツェに行ったり、プールに行ったりしました。プールではイタリアの子たちとおどったりしてとても楽しかったです。

また、ホームステイで気がついた日本との違いは食事です。夜の8時ぐらいから始まり、夕食はいつも外のテーブルでゆっくりと食べていました。その時はいつも時間がゆっくり流れているような気がしました。メニューは主にパスタで、様々な味付けがあり、毎回美

味しかったです。

そして、あっという間に最終日になってしまいました。最終日には上の町で「中世の遊び」というパンを投げる競技みたいなのをやりました。けっこう難しかったけど、僕のチームは優勝し、メダルをもらうことができました。その後はお別れ夕食会でした。みんなで食べて飲んで、ラストにソーラン節を披露しました。僕はリカルドにハッピーをプレゼントしました。とても喜んでくれました。その後家に帰り、夜中からみんなでウノをやりました。僕は途中で力尽き、眠ってしまいました。次の日チェルタルド市を出発しました。別れるのは名残り惜しかったし、もっといたかったです。振り返ると、一番不安だったホームステイが一番楽しかったです。

また楽しいだけでなく学んだこともあります。それは、言葉が通じなくても、自分の気持ちを伝えようとする努力の大切さです。僕はこの身をもってこれを実感しました。

僕はこの経験をしてよかったですと思います。また、温かく迎えてくれたホストファミリーの方や団長さん・随行人さんやイタリアでお世話になった方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。



中世パン投げ競技 —交流の証—

通訳
一ノ瀬 俊 和

チェルタルドの旧城郭地区（上の町）の入口にある広場で行われた「中世のパン投げ競技」は、日伊国交150周年の公式行事として行われた。

まずはこの競技について、説明しておこう。会場には2つの長テーブルが用意され、その上には直径30cmくらいの大きな丸型パンがそれぞれ30個ずつと籠にパンを入れるときに使う大きな木製のシャベルが置かれている。

参加者はそのテーブルから数メートルおきに直線状に並び、パンを次の人に投げてリレーしていき、最後の人がパン籠に投げ入れる。かかった時間は問われない、勝敗は籠に入ったパンの数で決まるのである。もちろん、リレーの途中で地面に落ちてしまったパンは、その時点で無効となる。また、パンを投げるとき自分の立ち位置の足元に描かれた枠からはみだしてもダメである。

研修団の子供たち（日本人）とホストファミリーの子供たち（イタリア人）の混成チームが6つ出来、2チームずつが戦い、一番多くのパンを籠に入れたチームが優勝ということであった。子供たちはみんな中世風の軽い上着を身にまとっている。



▲中世の衣装を着て

「大人のイタリアがささやいた。「えっ、我々も出るの？ちょっと待って、いま団長に聞いてくるから…」

団長さんからはすぐに快諾の返事があり、我々は早速衣裳部屋に連れて行かれ、着替えることになった。グラッツィアさんは、この競技の実行委員会の会長さんである。

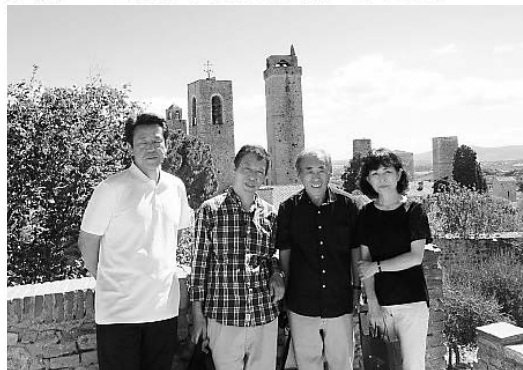
我々大人が着せられたのは、子供たちと違ってかなり本格的な衣装だった。ビロードのような厚手の生地、夏にはさすがに暑かった！団長と田中さんと私の男性陣は、貴族の子弟風の粋ないでたち、そして女性随員員の塩原さんはまさに貴婦人のお姫様スタイル。コスプレの楽しみはこういう感じかなどと思いつつ、着替え終わって広場に戻ると、そこ

「大人の大人たちにも中世の衣装を着てもらって、競技に参加してもらいたいのだからどうだろう？」、この競技会場で準備の様子を見ていた私にふいにグラッ

には郷土の詩人ボッカチオに扮した交流協会会長リドさんと貴婦人に扮したエリーザさん（第9次チェ市青年使節団の随員）が待っていた。

さあ、いよいよゲームの観戦かと思ったら、まずプレトリオ宮殿まで皆で行進し、それから競技を開始するという。こうして、我々はボッカチオを先頭に、貴婦人2人、貴族の子弟3人、その後に子供たちのチームが続き、上の町のメインストリートであるボッカチオ通りをはずしと宮殿まで歩いた。これが、近くを歩く観光客や地元の人々におお受け！「東洋人でもちっとも違和感がなく、中世の衣装がよく似合っている」と言われ、ちょっと嬉しかった。宮殿前で記念撮影の後、一行は広場に戻り、ようやく競技が開始されたのである。

さて、前述の6チームの熱い戦いが始まった。特にむずかしい役回りは、最初と最後の人が。最初の人、大きなシャベルにパンを載せ、上手く投げ上げて次に手渡さなければならぬ。これが、けっこう大変だ。そして、最後の人、きちんと籠に入れないと、アウトになってしまう。みんな真剣そのもの、日本とイタリア双方の子供たちの目がキラキラ輝いている。普段はおとなしい感じの子も、いまは表情が生き生きと輝いて見える。パンを落としてしまうと、アッという声上がる。「早く、早く！」という歓声が響く。最後の人、上手く籠に入れられなかったときは、ため息が漏れる。周りで応援している大人たちも、つい熱が入り大きな声が出る。



▲サン・ジミニャーノにて

イタリア人も日本人もなく、大人も子供もなく、みんないっしょになって目を輝かせ

生懸命ゲームに参加している！これこそが、真の草の根国際交流、チェルタルドと甘楽町の33年間の友情の証だ、と思った瞬間である。

こうして「中世のパン投げ競技」は日伊国交150周年記念行事にまことに相応しいものとなり、大成功を収めたのだった。



継続による
日伊交流の深化

随員
田中睦宏

平成27年6月に甘楽町海外事務所「甘楽町イタリア駐在事務所」が開設されました。

海外駐在員は愛知県出身で平成9年よりチェルタルド市在住の女性「稲葉美代子」さんです。平成12年にイタリア人男性と結婚し、現在14才になる娘さんを持つイタリアのお母さんです。

今回の第16次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団はこの甘楽町イタリア駐在事務所が開設されてから初めての研修団派遣となります。今年8月のチェルタルド市青年使節団と甘楽町中学生研修団の国際交流がスムーズに行われたのは稲葉美代子駐在員の活躍によるところがとて大きかったと思います。

チェルタルドの子供たちは、使節団として日本に来る前に稲葉駐在員の事前研修を受けてからこちらに来るそうです。日本の習慣や簡単な言葉や作法を学習して来日します。

この事前研修により日本のホストファミリーも大きな問題もなく子供達を預かれていますことと思います。

第15次研修団までは、派遣期間中すべての通訳を一ノ瀬俊和先生が一人で行っていましたが、今回からは、稲葉美代子駐在員にホストファミリー側の通訳を任せられたので、一ノ瀬先生の負担も少しは軽減できたのでは

ないかと思います。

また、使節団受入や研修派遣前のチェルタルドと甘楽町の間での詳細な打ち合わせも可能となり事務処理もスムーズに進むようになったと思われます。

稲葉美代子駐在員には、今回の研修団がチェルタルドに滞在中に様々な取り組みを実施し子供達の交流を図っていただきました。

折り紙を使って一つの作品を作り上げる「心の友」交流指導や電車に乗ってフィレンツェへ行きウフィッツィ美術館の見学同行も行っていました。

そして、ホームステイ中のイタリアホストファミリーと日本の子供達との通訳として、細かな連絡を取り合っていたり、受入家庭の心配ごと等の夜遅くの対応についてもご苦労いただきました。チェルタルド滞在の最終日のお別れ夕食会では、夕食メニューを日本語でご用意いただいたり、折り紙交流の完成作品を展示していただいたりと細かなところまで気を使ったおもてなしをいただきありがとうございました。



▲フィレンツェにて

公式場面や随員の通訳は一ノ瀬俊和先生、ホームステイ先や中学生の通訳は稲葉美代子駐在員とお互いに役割分担が連携された良い形で進んだと思います。

甘楽町とチェルタルド市との交流は、一ノ瀬先生と稲葉駐在員の通訳以上の仲立ちがあつてこそスムーズな交流であると思います。

私自身もお二人の支えがあつて、随員としての役割を果たせたと思っております。

親御さんから大切なお子さんをお預かりし事故や怪我なく行って来られたことをまずは嬉しく思っております。

また、私事になりますが、チェルタルド滞在中に、過去にホストファミリーとして受け入れをしたサラ・モッレアーレ(当時24歳)が婚約者を連れてホテルまで会いに来てくれました。久々の再会に大変感激しました。

今回の研修でチェルタルド以外でも、ミラノやローマで歴史的建造物や本物の芸術作品を実際に見ることができ、異国の習慣と食文化を体験し研修団員全員が心身共に成長できたのではないかと考えています。

我々研修団がローマ滞在の初日の午前3時36分に、イタリア中部に大きな地震が発生しました。震源地はウンブリア州ペルージャ県ノルチャ付近でマグニチュード6.2の大規模地震で、死者298人・行方不明者も多数でした。

今回の地震での被災地の方々のご心痛をお察し申し上げ、一日も早い復興をお祈りいたします。



▲4年前に受入をしたサラさんと再会

研修中には色々な出来事もありましたが、研修団一行が無事帰町できたのも関係者皆様のご協力によるものです。イタリアホストファミリーの皆さん、国際文化交流推進協会の方々、チェルタルド市当局の方々にも団員一同お世話をいただきありがとうございました。

長年続く両市町の交流は、今まで携わって来られた関係者の努力があつてのことです。今、私たちが交流継続を繋ぐ番を担っているのだと強く感じているところであります。

私も微力ではありますが、今後も国際交流支援をして行きたいと思えます。

最後に、今回ご協力くださったすべての皆様にお礼を申し上げます。Grazie mille!



更なる交流の 発展を願って

随行員
塩原 美佐子

どこまでも深く青い空、オレンジ色の屋根、広大な葡萄畑やオリーブ畑に囲まれ、糸杉が立ち並ぶまるで絵本の挿絵のような世界が目の前に広がった時、今イタリアにいる！という感動が沸き上がってきました。

チェルタルドでは受け入れ家庭の皆さんがとても暖かく、自分の子供のように接してくれていることが団員たちの感想からよくわかりました。言葉や感情表現が伝わらず、受け入れ家庭が心配する子もいましたが、23時過ぎの散歩に出かけたことなど生き生きと話す子や、「受け入れ家庭で食べた食事が一番おいしい」と話す子、感謝の気持ちを手紙にイタリア語に間違いがないか見てほしいとノ瀬先生に頼む子もいました。どの受け入れ家庭もとても喜んでくれて、今回の研修の成果を感じることができました。また、訪問先の全家庭で掃除が行き届き、センスの良い調度品が置かれ、部屋の飾りつけを楽しんでいることにとても驚きました。

街そのものが芸術品と思えるほど美しい街並みは本当に見事で、みんながこの街で生活しながらその美しさを守り続けているのだと実感しました。



▲高齢者施設にて

今回随行員として、日本のデイサービスに値する施設を見学させていただきました。平均15～18名の利用者に朝食・昼食・入浴

介助、手作業や認知機能を落とさないためのパソコン指導等のサービスを、職員6～8名で対応しているとのことでした。当日は音楽療法士のギターに合わせて歌い、太極拳（イタリア語ではタイチー「Tai Ci」と説明あり）では指導者と一緒にポーズをとる利用者の姿がとても楽しそうでした。職員の明るい笑顔と利用者の穏やかで暖かい笑顔が印象的でした。日本と同様に少子高齢社会であることや、医療保険として介護サービスも提供されていることを知ることができました。



▲市職員ダニエーラさんの手料理をいただきました

食事については私たちの味覚にとっても合うものでした。特に家庭での手料理はとても美味しく、色々な料理が手際よく運ばれ、会話を楽しみながら3～4時間かけて食事をする生活に驚きを隠すことができませんでした。生活時間の流れは日本とは大きな違いがありました。生活の質の豊かさが感じられました。残念ながら食事の分量が多く、ドゥーエ（二つ）、トレ（三つ）？と聞かれ、ウノ（一つ）やドゥーエと答えることに申し訳ない思いを抱いたものです。

チェルタルドを離れる前日のお別れ夕食会には、100人からの関係者が集まりました。23時過ぎに団員たちは合唱「上を向いて歩こう」と踊り「ソーラン節」を披露しました。川の近くの施設で急激に気温が下がり冷え込む中、熱く踊る団員の姿に会場からは拍手喝采が鳴りやまず、アンコールの声に、再度イタリアの子供たちと「ソーラン節」を踊り、大変な盛り上がりとなりました。言葉の壁を乗り越え交流の成果が大きな形となって現れた瞬間でした。翌朝には出発ですが、夜の更けるのも忘れ、皆その場を立ち去りがたくい

つまでも会話が弾んでいました。

この成果をあげることができたのも、様々な交流イベントを組み、不自由なく過ごせるよう配慮してくださった市や協会役員、ホストファミリー、関係者の皆さまの協力のお陰です。本当にありがとうございました。

更に稲葉さんには各家庭との調整に奔走していただき、お別れの日の朝には「バスの中で食べてください」とおにぎりをお渡しいただき、その心遣いに感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

また、ユーモア溢れる会話と細い山道でもスピード落とさず運転する技術の高さに驚かされつつ、シエナやサン・ジミニャーノなどの見学を楽しむことができたのは、終日運転手を務めてくださったエボさんのお陰だと心から感謝しています。

国際交流の証として、モニュメントや茶室、桜、友好都市25周年の碑など、甘楽町の存在を確認でき、33年間の年月で築き上げてきた関係を、今後より一層深め推進していかなければならないという思いを強く抱きました。

イタリアでは本物の美術品にたくさん触れることができ、団員たちのシャッターを押す手は止まらず、しばし言葉も失い、立ちつくす姿が印象的でした。団員たちがこの貴重な経験を通し、今後国際社会に対応し、社会貢献できる人材として羽ばたいてくれることと思っています。

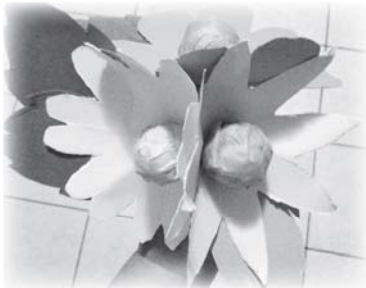
随行員に任命された時には、その責務に戸惑いを感じていましたが、団員たちが元気に過ごしてくれることを祈りつつ、準備した菓類の出番もなく帰国できたことに深い安堵を覚えました。

なお、ローマ滞在時に発生した地震では皆様から大変なご心配をいただきましたが、市内への影響はなく予定通りの行程で研修できたことを幸いに思っております。そして災害に遭われた地域の復興を心から願いつつ、再びイタリアへの思いを膨らませながら今回の機会を与えてくださった皆様、お世話になった皆様に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。



▲チェルタルド市役所前



▲折り紙創作アート



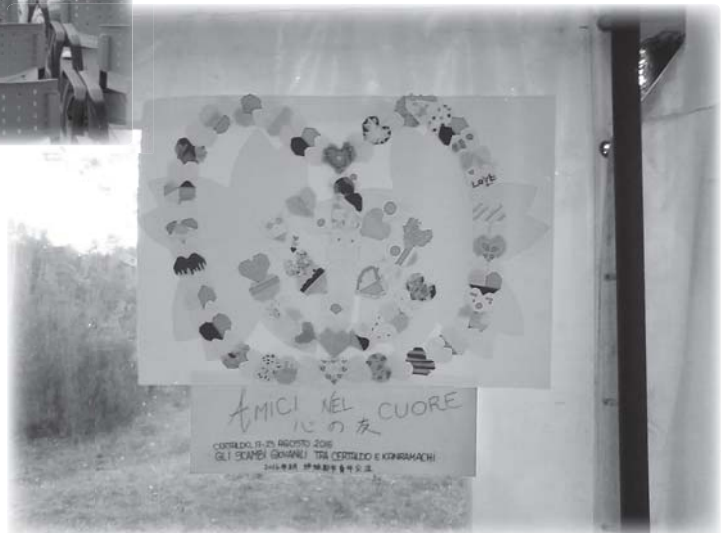
▲「中世の遊び」優勝メダル



▲「中世の遊び」参加承認及び感謝証書



▲対面式にてホストファミリーと



▲折り紙創作アート「心の友」

資料編

チェルタルド市の 概要

チェルタルド市は、イタリア共和国トスカーナ州フィレンツェ県に属し、人口約16,000人（甘楽町は約13,500人）、面積75.24km²（甘楽町は58.61km²）の小都市です。首都ローマから北へ約210km、商業都市ミラノから



▲上の町から見たチェルタルド市街

南へ約250kmの位置で、フィレンツェ、シエナへは約30km、ピサへは約50kmの距離にあり、サン・ジミニャーノは隣町にあります。地形は東西に細長く広がり、外周部を農耕地が取り囲んでいます。

中心部から西側平坦地、東部から北部にかけて起伏のある丘陵地帯が続き、ブドウ、オリーブ、麦畑などが広がり、農地が点在し、遠望のきく風景の眺めは素晴らしいです。

市街は、13世紀から14世紀の古い建物が連なる丘の上のチェルタルド・アルトと呼ばれる旧城郭区域（標高約130m）と、丘の下の平坦地に区画整理された新しい市街がエルザ川流域に広がっています。

イタリアの代表的作家ジョヴァンニ・ボッカチオ（1313年～1375年代表作『デカメロン』）生誕の地であり、ボッカチオは、ダンテ、ペトラルカとともに14世紀イタリア文学の三巨星に数えられ、市民は、この地が生んだことを何よりの誇りとしています。また、市役所は、市街の中心地（標高約70m）にあり、市役所前にあるボッカチオの像が建つボッカチオ広場は、市民の憩いの広場となっています。



▲プレトリオ宮殿



▲上の町の様子（ボッカチオ通り）



▲チェルタルド市の位置

第1次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－1986年7月(昭和61年)－

- 18日(金) 壮行会<9:00>
成田空港発<17:45>
- 19日(土) ローマ着<7:45>日本文化会館訪問
チェルタルド着<18:00>受け入れ家庭へ
- 20日(日) 集合<9:00>古都フィレンツェ見学
お祭り広場で歓迎夕食会<21:00>
- 21日(月) 集合<9:00>シエナ旧跡・サン・ジミニャーノ見学
- 22日(火) 集合<9:00>チェルタルド旧跡見学
中学校訪問<12:00>
交歓会<18:00>(滞在団体紹介、お土産交換)
- 23日(水) 集合<7:30>チェルタルド発
ピサの斜塔・ミラノ旧跡見学
ミラノ発<18:35>
パリ空港到着<20:20>
- 24日(木) 集合<9:00>パリ市内見学(ルーブル博物館等)
パリ発<20:00>
ローマ空港着<22:00>
- 25日(金) 集合<9:00>
ローマ市内見学(ヴァチカン宮殿博物館等)
- 26日(土) 帰国準備<10:00>
ローマ空港発<12:30>
- 27日(日) 成田空港着<14:55>
甘楽町着<20:15>

団員名簿

役 職	氏 名	住 所	備 考
団 長	佐 藤 茂 連	甘楽町大字小川	教育長
随 行 員	井 上 伸 栄	〃 上野	議会議員
〃	浅 香 忠	富岡市一ノ宮	教 諭
〃	新 井 順 子	甘楽町大字金井	教 諭
通 訳	一ノ瀬 俊 和	鎌倉市極楽寺	

氏 名	所 属	性別	住 所	チェルタルド市受入家庭
野 尻 忠	一中2-A	男	甘楽町大字上野	フランコ・ルスキ
小河原 淳	一中2-B	男	〃 天引	FRANCO LUSCHI
山 田 博 音	一中2-C	男	〃 金井	マルチェロ・ベケリーニ
伊 藤 昌 弘	一中2-D	男	〃 福島	MARCELLO BECHERINI
小 菅 照 美	一中2-B	女	〃 金井	アルフィエーロ・チャンポリーニ
相 川 真 美	一中2-D	女	〃 福島	ALFIERO CIAMPOLINI
佐 藤 真 理 子	一中2-C	女	〃 福島	カルロ・ナッチ
春 山 典 子	一中2-A	女	〃 造石	CARLO NACCI
長 岡 邦 江	一中2-B	女	〃 造石	フランコ・フィアスキ
茂 原 順 子	二中2-B	女	〃 小幡	FRANCO FIASCHI
島 尻 光 子	一中3-B	女	〃 上野	レオネット・フィアスキ
吉 田 美 紀	一中3-B	女	〃 庭谷	LEONETTO FIASCHI
吉 田 裕 一	一中2-D	男	〃 庭谷	ネヴィオ・ヴァンニ
加 藤 英 明	二中2-A	男	〃 善慶寺	NEVIO VANNI
柴 山 喜 行	二中2-A	男	〃 轟	アンドレーア・スピーニ
長 岡 芳 範	二中2-A	男	〃 小幡	ANDREA SPINI
高 橋 牧 子	二中3-A	女	〃 小幡	アルマンド・プラテージ
新 井 礼 子	二中3-B	女	〃 上野	ARMANDO PRATESI
土 屋 薫 里	二中3-A	女	〃 上野	メテッロ・バルタリーニ
中 野 みゆき	二中3-B	女	〃 国峰	METELLO BARTALINI

第2次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－1988年8月(昭和63年)－

- 20日(土) 壮行会<13:00>
甘楽町出発<14:00>成田空港着<20:40>成田空港発(JAL421便)<22:30>
- 21日(日) ロンドン着(BA304便でパリへ)<8:30>パリ着(AZ335便でローマへ)<12:10>
ローマ空港着後、市内見学(ヴァチカン市国等)<14:10>
ホテル着<18:00>
- 22日(月) 集合<9:30>終日 ローマ市内見学(コロッセオ、カタコンベ等)
ホテル着<18:40>(ホームステイについて最終打合せ)
- 23日(火) テルミニ駅よりフィレンツェへ 駅到着<12:15>
チェルタルド着<17:10>(上の町、プレトリオ宮殿等見学)
セレモニー(受け入れ家庭の紹介、引渡し)<18:30>
- 24日(水) 集合<9:00>終日 ピサ見学
- 25日(木) 集合<9:00>フィレンツェに向け出発(ウフィッツィ美術館、ドゥオーモ見学)
- 26日(金) 集合<9:00>チェルタルド施設(学校、スポーツ施設等)サン・ジミニャーノ、シエナ見学
- 27日(土) ヴィンチ村に向け出発<9:00>レオナルド博物館見学
お別れ夕食会<12:30>
- 28日(日) 集合<9:00>ベニスへ
ベニス着<13:30>サンマルコ寺院見学、ゴンドラ乗船など
ホテル着<19:00>
- 29日(月) ミラノに向け出発(AZ304便)<8:30>
途中ヴェローナ見学ミラノ着<17:00>
ロンドン着<18:50>ロンドン発(JAL402便)<20:15>
- 30日(火) 成田空港着<15:30>
甘楽町着<20:30>

団員名簿

役 職	氏 名	住 所	備 考
団 長	木 村 隆 男	甘楽町大字小幡	教育委員長
随 行 員	山 田 寅 太 郎	" 小幡	議会議員
"	森 平 仁 子	" 天引	教 諭
"	中 野 哲 也	" 国峰	町 職 員
通 訳	一ノ瀬 俊 和	東京都豊島区千早	

氏 名	所 属	性 別	住 所	チェルタルド市受入家庭
鶴 田 千 春	一中2-A	女	甘楽町大字福島	ロベルト・ビージ
吉 田 恭 子	一中2-B	女	" 庭谷	ROBERTO BIGI
山 田 学	一中2-B	男	" 白倉	ロベルト・ボルギーニ
小 柏 尊 明	一中2-B	男	" 天引	ROBERTO BORGHINI
梅 田 勇 人	一中2-C	男	" 福島	レンツォ・ピストレージ
鈴 木 重 紀	一中2-C	男	" 庭谷	RENZO PISTOLESI
吉 田 和 代	一中2-C	女	" 小川	カルラ・トゥルキ
野 本 明 子	一中2-C	女	" 天引	CARLA TURCHI
山 崎 玲 子	一中2-C	女	" 天引	ロレンツォ・メッツェッティ
根 岸 めぐみ	一中3-D	女	" 福島	LORENZO MEZZETTI
斎 藤 雅 文	二中2-A	男	" 小幡	アレッサンドロ・コルティ
山 田 和 仁	二中2-A	男	" 小幡	ALESSANDRO CORTI
松 井 貴 子	二中2-A	女	" 小幡	メッello・バルタリーニ
松 井 美 穂	二中2-B	女	" 轟	METELLO BARTALINI
斎 藤 廣 美	二中3-A	女	" 国峰	クーリオ・マルコッチィ
横 尾 かおり	二中3-A	女	" 小幡	CURIO MARCOCCI
浅 香 和 代	二中3-B	女	" 小幡	フォスコ・ガルガーニ
田 村 かおる	三中3年	女	" 秋畑	FOSCO GALGANI
桜 井 基 雄	一中3-D	男	" 庭谷	ネヴィオ・ヴァンニ
桜 井 勝 彦	三中3年	男	" 秋畑	NEVIO VANNI

第3次チエルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－1990年8月(平成2年)－

- 17日(金) 壮行会(役場大会議室)＜10:00＞甘楽町役場出発＜11:00＞
成田空港着＜16:00＞成田空港発(アリタリア航空791便)＜19:00＞
- 18日(土) デリー着＜2:50＞ローマ着＜5:00＞ローマ発(アリタリア航空1120便)＜9:45＞
ピサ着＜10:20＞ピサ発＜17:15＞チエルタルド着＜18:20＞
- 19日(日) 各受け入れ家庭での生活
- 20日(月) 各受け入れ家庭での生活
- 21日(火) 集合＜9:00＞電車にてフィレンツェに向け出発(終日フィレンツェ見学)＜9:39＞
- 22日(水) 各受け入れ家庭での生活 coop集合(coop見学、交流)＜16:00＞
- 23日(木) バスにて終日シエナ見学＜9:00＞チエルタルド着＜17:30＞
- 24日(金) 各受け入れ家庭での生活
- 25日(土) バスにてヴィンチ村へ(レオナルド博物館、生家見学)＜9:00＞
お別れ昼食会＜13:00＞
- 26日(日) 集合＜8:00＞チエルタルド発＜8:30＞
ローマ着後、市内見学(カタコンベ、トレヴィの泉等)
ホテル着＜17:00＞
- 27日(月) 終日 ローマ市内見学(ヴァチカン市国、コロッセオ等)＜9:00＞
ホテル着＜18:30＞
- 28日(火) ホテル発＜9:00＞ローマ空港着＜10:00＞
ローマ発(アリタリア航空786便)＜13:00＞
- 29日(水) 成田空港着＜14:40＞
甘楽町役場着＜21:35＞

団員名簿

役職	氏名	住所	備考
団長	近藤 浩	甘楽町大字福島	教育委員長
随行員	由田 君代	富岡市一ノ宮	教諭
"	五十里比登志	" 田篠	町職員
通訳	一ノ瀬 俊和	東京都豊島区千早	

氏名	所属	性別	住所	チエルタルド市受入家庭
飯塚 有美	大学生	女	甘楽町大字小幡	リード・ウリヴィエーリ LIDO ULIVIERI
浅川 純子	一中3-A	女	" 白倉	エーニオ・フレージ
井上 智美	一中3-B	女	" 天引	ENIO FURESI
相川 優子	一中3-C	女	" 福島	アクウイリーノ・チェリオーニ
藤巻 由紀美	一中3-D	女	" 小川	AQUILINO CERIONI
野口 修平	一中2-A	男	" 白倉	アレッサンドロ・コルティ
山崎 匡亮	一中2-C	男	" 天引	ARESSNDRO CORTI
山田 麻記子	一中2-B	女	" 白倉	ネヴィオ・ヴァンニ
清水 理英子	二中2-B	女	" 善慶寺	NEVIO VANNI
柴山 治子	二中3-A	女	" 轟	レンツォ・ピストレージ
吉田 真知子	二中3-B	女	" 上野	RENZO PISTOLESI
長岡 いづみ	一中3-D	女	" 造石	カルラ・トウルキ
仲條 美智子	二中3-B	女	" 国峰	CARLA TURCHI
仲條 裕子	二中2-A	女	" 国峰	アルベルト・カヴァッリーニ
中山 真紀	二中2-B	女	" 国峰	ALBERTO CAVALLINI
吉田 真実	一中2-A	女	" 庭谷	マルチェロ・ポッジェージ
吉田 深雪	二中2-A	女	" 上野	MARCELLO POGGESI
三木 宏未	一中2-C	女	" 金井	ジュゼッペ・ティンティ
松井 夕子	二中2-B	女	" 轟	GIUSEPPE TINTI
中野 あゆみ	三中2年	女	" 秋畑	メッテロ・バルタリーニ
黛 佳穂里	三中2年	女	" 秋畑	METELLO BARTALINI

第4次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－1992年8月(平成4年)－

- 17日(月) 甘楽町役場出発<4:30>
成田空港着<9:00>成田空港発(アリタリア航空1787便)ミラノ着<17:10>
ホテル着<19:00>
- 18日(火) ホテル発<9:00>
ミラノ市内見学(ドウオーモ、スカラ座等)ミラノ発<13:30>
チェルタルド着<18:30>対面式、歓迎式後、各受け入れ家庭へ
- 19日(水)～ 各受け入れ家庭での生活
- 21日(金) 各受け入れ家庭での生活
- 22日(土) チェルタルド駅集合<8:30>フィレンツェ市内見学(ドウオーモ、ウフィッツィ美術館等)<8:40>
- 23日(日) 各受け入れ家庭での生活
- 24日(月) シエナ市内見学(ドウオーモ、カンポ広場、国立美術館等)<8:30>
チェルタルド着<13:00> coop集合(対話集会、coop見学)<17:00>
- 25日(火) 集合<9:00>バスでヴィンチ村へ(レオナルド博物館、生家見学)
お別れ昼食会<13:00>
- 26日(水) 集合<8:00>チェルタルド発<8:30>
ローマ着後、市内見学(トレヴィの泉、カタコンベ等)ホテル着<17:00>
- 27日(木) 終日 ローマ市内見学(ヴァチカン市国、コロッセオ等)<9:00>
ホテル着<17:00>
- 28日(金) ホテル発<9:00>
ローマ発(アリタリア航空1782便)<14:00>ミラノ経由
- 29日(土) 成田空港着<11:30>
甘楽町役場着<17:10>

団員名簿

役職	氏名	住所	備考
団長	茂原 武	甘楽町大字小幡	教育委員長
随行員	佐藤 稔 恵	妙義町大字下高田	教諭
〃	富岡 朝 男	甘楽町大字善慶寺	町職員
通訳	一ノ瀬 俊 和	川崎市幸区中幸町	

氏名	所属	性別	住所	チェルタルド市受入家庭
富田 真 一	一中2-1	男	甘楽町大字天引	エンツォ・ミリオリーニ
吉田 哲 也	一中2-2	男	〃 白倉	ENZO MIGLIORINI
茂木 光 子	一中2-2	女	〃 白倉	ガエターノ・カルーゾ
松井 沙 織	一中2-3	女	〃 小川	GAETANO CARUSO
吉田 英 誉	一中2-4	男	〃 福島	フランコ・レツリ
星野 善 隆	二中3-B	男	〃 小幡	FRANCO LELLI
井野口 美 咲	一中2-4	女	〃 小川	ジュリアーノ・プッチ
佐俣 友 紀	一中2-4	女	〃 白倉	GIULIANO PUCCI
杉山 陽 子	二中3-B	女	〃 小幡	カルラ・トゥルキ
瀧上 記 代	二中3-B	女	〃 小幡	CARLA TURCHI
富岡 紀 満	二中2-A	男	〃 善慶寺	レンツォ・ピストレージ
斎藤 知 意	二中2-B	男	〃 小幡	RENZO PISTOLESI
斎藤 栄 利子	二中2-A	女	〃 小幡	ダニーロ・ベッリ
田村 仁 子	二中2-A	女	〃 国峰	DANILO BELLI
中野 由加利	二中2-B	女	〃 国峰	ガブリエッロ・セツリ
丸澤 亜 矢子	二中2-B	女	〃 善慶寺	GABRIELLO SELLI
新井 渚	三中3年	女	〃 秋畑	ロレンツォ・メツツェッティ
松井 優 香里	三中3年	女	〃 秋畑	LORENZO MEZZETTI
飯塚 信 一	三中2年	男	〃 秋畑	パルミーロ・チェッティ
中野 雅 和	三中2年	男	〃 秋畑	PALMIRO CETTI

第5次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－1994年8月(平成6年)－

- 17日(水) 甘楽町役場出発<5:30>
成田空港着<8:30>成田空港発(アリタリア航空785便)<12:00>ミラノ着<17:10>
ホテル着<18:40>
- 18日(木) ホテル発<8:50>
ミラノ市内見学(サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会、ドウオーモ等)
ミラノ発<13:30>チェルタルド着<18:30>対面式、歓迎式後、各受け入れ家庭へ
- 19日(金) 各受け入れ家庭での生活
- 20日(土) チェルタルド駅集合<8:00>フィレンツェ市内見学(ドウオーモ、ウフィッツィ美術館等)
チェルタルド駅着<18:20>各受け入れ家庭へ
- 21日(日) 各受け入れ家庭での生活
- 22日(月) 各受け入れ家庭での生活
- 23日(火) シエナ市内見学(ドウオーモ、カンポ広場、国立美術館等)
各受け入れ家庭へ<13:00>(男子はプロサッカー観戦、女子はショッピング)
- 24日(水) 各受け入れ家庭での生活
- 25日(木) バスでヴィンチ村へ(レオナルド博物館、生家見学)<9:00>
お別れ昼食会(合唱披露)<13:00>
- 26日(金) 集合<7:45>チェルタルド発<8:00>
ローマ着後、市内見学(トレヴィの泉、コロッセオ)
- 27日(土) 集合<9:00>終日 ローマ市内見学(ヴァチカン市国等)
ホテル着<18:10>
- 28日(日) ホテル発<9:00>
ローマ発(アリタリア航空1790便)<12:45>ミラノ経由
- 29日(月) 成田空港着<9:10>
甘楽町役場着<14:30>

団員名簿

役 職	氏 名	住 所	備 考
団 長	関 俊 雄	甘楽町大字上野	教育委員長
随 行 員	武 井 紀 子	富岡市富岡	教 諭
"	田 村 省 三	甘楽町大字小川	町 職 員
通 訳	一ノ瀬 俊 和	川崎市幸区中幸町	

氏 名	所 属	性別	住 所	チェルタルド市受入家庭
新 井 拓 郎	一中2-2	男	甘楽町大字福島	バンディネリ・ヴィニーチョ BANDINELLI VINICIO
吉 田 宣 之	一中2-2	男	" 庭谷	
高 麗 悠 樹	一中2-3	男	" 金井	チェンニ・ルチャーノ CENNI LUCIANO
丸 澤 順 一	二中2-A	男	" 善慶寺	
新 井 博 亮	一中3-1	男	" 白倉	ボルギ・マウリッツィオ BORGI MAURIZIO
田 村 浩 二	三中3年	男	" 秋畑	
松 田 望	二中3-B	男	" 小幡	ルスキ・フランコ LUSCHI FRANCO
宮 城 洋 一	二中3-B	男	" 小幡	
田 村 美 緒	一中2-2	女	" 小川	ストランビ・フェルディナンド STRAMBI FERDINANDO
田 村 裕 美	二中2-B	女	" 小幡	
江 原 めぐみ	一中2-4	女	" 金井	ペトルチョーネ・ミカエル PETRUCIONE MICHAEL
井野口 真 弓	一中3-4	女	" 小川	
堀 口 愛	一中3-4	女	" 天引	ドルチェ・ジュゼッペ DOLCE GIUSEPPE
松 井 由 紀	一中3-4	女	" 小川	
片 田 理 恵	二中2-A	女	" 小幡	モンタニャーニ・ルチャーノ MONTAGNANI LUCIANO
倉 嶋 歩 美	二中2-A	女	" 小幡	
田 中 美 智	二中2-A	女	" 小幡	カヴァッリーニ・アルベルト CAVALLINI ALBERTO
佐 藤 愛	二中2-B	女	" 上野	
井 上 広 美	三中3年	女	" 秋畑	チャボ・ヴィンツェンツォ CIABO VINCENZO
松 井 瑠 美	三中3年	女	" 秋畑	

第6次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－1996年8月(平成8年)－

- 16日(金) 甘楽町役場出発<5:00>
成田空港着<8:45>成田空港発(アリタリア航空789便)<11:45>ミラノ着<17:10>
ホテル着<19:00>
- 17日(土) ホテル発<8:30>
ミラノ市内見学(サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会、ドゥオーモ等)ミラノ発<13:30>
チェルタルド着<18:30>対面式、歓迎式後、各受け入れ家庭へ
- 18日(日) 各受け入れ家庭での生活
- 19日(月) 各受け入れ家庭での生活
- 20日(火) シエナ市内見学(ドゥオーモ、カンポ広場等)<8:40>各受け入れ家庭へ<13:40>
- 21日(水) 各受け入れ家庭での生活
- 22日(木) チェルタルド駅集合<8:45>フィレンツェ市内見学(ドゥオーモ、シニョリーア広場等)
チェルタルド駅着<18:20>各受け入れ家庭へ
- 23日(金) 各受け入れ家庭での生活
- 24日(土) バスでヴィンチ村へ(レオナルド博物館、生家見学)<8:50>
お別れ昼食会<13:00>
各受け入れ家庭へ<16:00>
- 25日(日) 集合<8:30>チェルタルド発<8:40>ローマ着後、市内見学(トレヴィの泉、パンテオン神殿等)
- 26日(月) ホテル発<8:30>
終日ローマ市内見学(ヴァチカン美術館、コロッセオ等)
ホテル着<18:00>
- 27日(火) ホテル発<9:00>
ローマ発(アリタリア航空788便)<12:30>ミラノ経由
- 28日(水) 成田空港着<9:30>
甘楽町役場着<15:00>

団員名簿

役 職	氏 名	住 所	備 考
団 長	田 村 昭	甘楽町大字秋畑	教育委員長
随 行 員	掛 川 ヒカル	多野郡吉井町大字吉井	教 論
〃	増 田 剛 久	甘楽町大字秋畑	町 職 員
通 訳	一ノ瀬 俊 和	川崎市幸区中幸町	

氏 名	所 属	性別	住 所	チェルタルド市受入家庭
篠原 早 紀	一中2-1	女	甘楽町大字白倉	マウロ・コルシ
吉井 清 香	一中2-2	女	〃 福島	MAURO CORSI
新井 利 典	一中2-4	男	〃 福島	フランチェスコ・マドニーア
高木 越 夫	一中2-4	男	〃 天引	FRANCESCO MADONIA
新井 絵里子	一中2-4	女	〃 福島	ガエターノ・カルーソ
神宮 智 美	一中2-4	女	〃 白倉	GAETANO CARUSO
松井 恵	一中2-4	女	〃 小川	マルコ・ヴォルテッラーニ
横山 知 佳	一中2-4	女	〃 天引	MARCO VOLTERRANI
小金澤 香 奈	一中3-1	女	〃 白倉	ルチャーノ・アントニオ
鈴木 理 絵	一中3-1	女	〃 福島	LUCIANO ANTONIO
高橋 麻利子	一中3-1	女	〃 福島	フィorenzoツォ・ヴェリデーニ
吉田 律 子	二中3-B	女	〃 上野	FIorenzo VERIDIANI
高橋 洋 平	一中3-3	男	〃 白倉	エンツォ・ミリオリーニ
松井 秀 樹	三中3年	男	〃 秋畑	ENZO MIGLIORINI
高橋 美 穂	二中2-A	男	〃 善慶寺	ネヴィオ・ヴァンニ
山田 浩 二	二中2-A	男	〃 轟	NEVIO VANNI
松井 真理子	二中2-A	女	〃 轟	ジャンフランコ・レンシ
松井 陽 子	三中2年	女	〃 秋畑	GIANFRANCO RENCİ
田村 智 恵	三中2年	女	〃 秋畑	ロベルト・ビージ
増田 容 子	三中2年	女	〃 秋畑	ROBERTO BIGI

第7次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－1998年8月(平成10年)－

- 14日(金) 甘楽町役場出発<4:15>
成田空港着<7:20>成田空港発(アリタリア航空789便)<12:50>途中ウィーンにて給油ミラノ着<19:10>
ホテル着<21:00>
- 15日(土) ホテル発<8:10>
ミラノ市内見学(サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会、ドウオーモ等)
ホテル着<20:40>
- 16日(日) ホテル発<8:00>
チェルタルド着<12:45>各受け入れ家庭 歓迎式<22:00>
- 17日(月) 各受け入れ家庭での生活 二中学生ポッカチオ中学校訪問<11:00>
- 18日(火) シエナ市内見学(ドウオーモ、カンポ広場等)<8:45>各受け入れ家庭へ<12:30>
- 19日(水) 各受け入れ家庭での生活
- 20日(木) チェルタルド駅集合<8:43>フィレンツェ市内見学(ドウオーモ、シニョリーア広場等)
チェルタルド駅着<18:00>各受け入れ家庭へ
- 21日(金) チェルタルド市内郊外のプールへ
各受け入れ家庭での生活
- 22日(土) バスでヴィンチ村へ<8:50>お別れ昼食会<13:00>各受け入れ家庭へ<16:30>
- 23日(日) 集合<7:30>チェルタルド発<8:22>
ローマ着後、市内見学(トレヴィの泉、コロッセオ等)
- 24日(月) ホテル発<9:15>
終日 ローマ市内見学(ヴァチカン美術館、カタコンベ等)
ホテル着<21:00>
- 25日(火) ホテル発<8:43>
ローマ空港発(アリタリア航空788便)<12:10>ミラノ経由
- 26日(水) 成田空港着<8:55>
甘楽町役場着<14:40>

団員名簿

役職	氏名	住所	備考
団長	春山安弘	甘楽町大字造石	教育委員長
随行員	高橋茂	〃 金井	町職員
〃	斎藤廣美	〃 福島	町職員
通訳	一ノ瀬俊和	東京都稲城市矢野口	

氏名	所属	性別	住所	チェルタルド市受入家庭
高麗哲人	一中3-3	男	甘楽町大字金井	セルジョ・プロータジ
中島源嘉	一中3-4	男	〃 天引	SERGIO PROTASI
高橋香織	一中2-1	女	〃 白倉	フィorenzo ヴェリデーニ
篠原香奈	一中2-1	女	〃 福島	FIorenzo VERIDIANI
山本育美	一中2-3	女	〃 福島	セルジョ・ヴァレンティーニ
矢嶋美紀	一中2-3	女	〃 福島	SERGIO VALENTINI
吉沢亜希奈	一中3-1	女	〃 金井	ロベルト・ビージ
山口優香	一中3-4	女	〃 福島	ROBERTO BIGI
田村智也	二中2-B	男	〃 善慶寺	カルロ・ザーリ
飯塚崇史	三中3年	男	〃 秋畑	CARLO ZARI
吉田明穂	二中2-A	女	〃 上野	ファビオ・カルベッティ
関谷あずさ	二中2-A	女	〃 善慶寺	FABIO CALVETTI
中野博美	二中3-A	女	〃 小幡	ルチャーノ・ヴォルトリーニ
柴山樹利	二中3-B	女	〃 善慶寺	LUCIANO VOLTOLINI
田中沙織	二中2-B	女	〃 小幡	レナート・ストランビ
浅香直美	三中3年	女	〃 秋畑	RENATO STRAMBI

第8次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－2000年8月(平成12年)－

- 14日(月) 甘楽町役場出発<5:25>
成田空港着<8:35>成田空港発(アリタリア航空789便)<12:50>ミラノ着<17:35>
ホテル着<19:30>
- 15日(火) ホテル発<9:05>
ミラノ市内見学(スフォルツェスコ城、レオナルド・ダ・ヴィンチ博物館、ドウオーモ等)
ホテル着<21:00>
- 16日(水) ホテル発<8:00>
チェルタルド着<12:40>各受け入れ家庭へ 歓迎式<21:25>
- 17日(木) 各受け入れ家庭での生活
- 18日(金) チェルタルド駅集合<8:45>フィレンツェ内見学(ドウオーモ、シニョリーア広場等)
チェルタルド駅着<18:10>各受け入れ家庭へ
- 19日(土) バスでピサ市へ移動後、市内見学(斜塔、ドウオーモ等)<8:50>
チェルタルド着<13:20>各受け入れ家庭へ
- 20日(日) 各受け入れ家庭での生活
- 21日(月) チェルタルド市内見学(小中学校、老人ホーム)<9:30>
各受け入れ家庭へ<11:30>
- 22日(火) バスでシエナ市へ移動後、市内見学(ドウオーモ、国立絵画館、カンポ広場)<8:40>
お別れ昼食会<13:15>各受け入れ家庭へ<16:30>
- 23日(水) 集合<8:00>チェルタルド発<8:25>
ローマ着後、市内見学(スペイン広場、トレヴィの泉、コロッセオ)<12:30>
ホテル着<21:30>
- 24日(木) ホテル発<9:00>
終日 ローマ市内見学(ヴァチカン美術館、カタコンベ等)
ホテル着<21:00>
- 25日(金) ホテル発<8:30>
ローマ発(国内線でミラノへ)<11:40>ミラノ発(アリタリア航空786便)<15:05>
- 26日(土) 成田空港着<9:55>
甘楽町役場着<14:30>

団員名簿

役職	氏名	住所	備考
団長	堀越武男	甘楽町大字福島	教育委員
随行員	新井貞行	〃 天引	町職員
〃	山田雅	〃 小幡	町職員
通訳	一ノ瀬俊和	東京都稲城市矢野口	

氏名	所属	性別	住所	チェルタルド市受入家庭
柳澤正典	一中3-3	男	甘楽町大字福島	カルロ・ザーリ
野口大地	一中3-3	男	〃 白倉	CARLO ZARI
古舘龍	一中2-2	男	〃 天引	ネヴィオ・ヴァンニ
松原正貴	一中2-2	男	〃 福島	NEVIO VANNI
高木崇史	二中2-A	男	〃 小幡	フィorenzo・ヴェリディアーニ
田村陽介	三中3年	男	〃 秋畑	FIorenzo VERIDIANI
反町美穂	一中3-3	女	〃 金井	ジャコモ・カンパネッラ
山田千鶴	一中3-2	女	〃 天引	GIACMO CAMPANELLA
堀口麻衣	一中2-2	女	〃 白倉	レンツォ・モンタニャーニ
吉田智美	一中2-2	女	〃 庭谷	RENZO MONTAGNANI
堀口望美	一中2-4	女	〃 福島	ロベルト・ビージ
山田瑞希	一中2-4	女	〃 福島	ROBERTO BIGI
高橋京子	一中2-3	女	〃 白倉	ルチャーノ・ナルディ
矢嶋さおり	一中2-1	女	〃 福島	LUCIANO NALDI
熊井戸彰子	二中2-B	女	〃 小幡	ティツィアーノ・ヴォルテッラーニ
山田桃子	二中2-B	女	〃 小幡	TIZIANO VOLTERRANI

第9次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－2002年8月(平成14年)－

- 17日(土) 甘楽町役場出発<5:30>
成田空港着<9:00>成田空港発(アリタリア航空AZ787便)<12:30>ミラノ着<18:35>
ホテル着<20:00>
- 18日(日) ホテル発<8:50>
ミラノ市内見学(スフォルツェスコ城、スカラ座、ピットリオ・エマヌエレ2世ガレリア、ドウオーモ等)
バスでフィレンツェへ移動後、ホテル着<18:30>
- 19日(月) ホテル発<9:00>
フィレンツェ市内見学(ヴェッキオ橋、シニョリーア広場、サンタ・マリア・デル・フィオーレ等)
バスでチェルタルドへ移動後、各受け入れ家庭へ <13:30>
研修団歓迎レセプション<21:00>
- 20日(火) 市内の小中学校、老人ホーム、図書館を見学<10:00>各受け入れ家庭へ<13:00>
- 21日(水) 各受け入れ家庭での生活
- 22日(木) バスでピサ市へ移動後、市内見学(ドウオーモ、洗礼堂、斜塔)<9:40>
各受け入れ家庭へ 家庭訪問(4家庭)<16:00>
- 23日(金) バスでシエナ市へ移動後、市内見学(ドウオーモ、国立絵画館、カンポ広場)<9:30>
各受け入れ家庭へ 家庭訪問(3家庭)<17:00>
- 24日(土) 各受け入れ家庭での生活
- 25日(日) 各受け入れ家庭での生活 お別れ夕食会<20:30>
- 26日(月) 集合<8:00>チェルタルド発<8:10>
ローマ着後、市内見学(コロッセオ、トレヴィの泉、スペイン広場)<12:30>
ホテル着<21:30>
- 27日(火) 終日ローマ市内見学(ヴァチカン美術館、サンピエトロ寺院、真実の口(サンタ・マリア・イン・コスメティン教会)、カコンベ)<7:45>
ホテル着<21:00>
- 28日(水) ホテル発 <8:30>
ローマ空港着<9:20>ローマ発<13:40>ミラノ発(アリタリア航空AZ786便)<15:20>
- 29日(木) 成田空港着<10:35>
甘楽町役場着<16:00>

団員名簿

役 職	氏 名	住 所	備 考
団 長	田 村 信 昌	甘楽町大字秋畑	教育委員
随 行 員	柳 澤 千 枝 子	" 善慶寺	町 職 員
"	横 尾 弘	" 小川	町 職 員
通 訳	一ノ瀬 俊 和	東京都稲城市矢野口	

氏 名	所 属	性 別	住 所	チェルタルド市受入家庭
茂 木 啓 佑	一中3-1	男	甘楽町大字福島	カルロ・ザーリ
山 田 涉	一中3-2	男	" 白倉	CARLO ZARI
保 坂 翔 一	一中3-3	男	" 福島	ネヴィオ・ヴァンニ
菊 池 健 太	一中2-1	男	" 白倉	NEVIO VANNI
中 村 勇 紀	一中2-2	男	" 小川	ロベルト・セリヤーコピ
小 澤 和 征	二中2-A	男	" 小幡	ROBERTO SERIACOPI
齊 藤 美 穂	一中3-1	女	" 白倉	ジャンカルロ・ガロージ
星 野 裕 香	一中3-1	女	" 造石	GIANCARLO GAROSI
小 林 輝 世	一中3-3	女	" 白倉	ファビオ・フィミア
墨 谷 綾 華	一中3-3	女	" 小川	FABIO FIMIA
高 橋 綾 菜	一中2-1	女	" 金井	ダニエーレ・カンティーニ
大 河 原 由 貴	一中2-2	女	" 金井	DANIELE CANTINI
田 村 沙 登 美	二中3-A	女	" 小幡	ルチャーノ・ナルディ LUCIANO NALDI
森 田 千 奈	二中3-B	女	" 善慶寺	
中 野 香	三中3年	女	" 秋畑	
増 田 香 奈 恵	三中2年	女	" 秋畑	

第10次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要—2004年8月(平成16年)—

- 14日(土) 甘楽町役場出発<6:30>
成田空港着<9:45>成田空港発(アリタリア航空AZ787便)<13:00>ミラノ着<18:12>
通訳—ノ瀬氏と合流<19:30>
ホテル着<22:00>
- 15日(日) ホテル発<8:30>
ミラノ市内見学(ドウオーモ、ガレリア、スカラ座、サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会、スフォルツェスコ城等)
バスでフィレンツェへ移動後、ホテル着<18:15>
- 16日(月) ホテル発<9:00>
フィレンツェ市内見学(ドウオーモ、ヴェッキオ橋、シニョリーア広場、ヴェッキオ宮殿等)
バスでチェルタルドへ移動後、各受け入れ家庭へ<13:10>
研修団歓迎レセプション<21:30>
- 17日(火) 各受け入れ家庭での生活
- 18日(水) 各受け入れ家庭での生活 家庭訪問(7家庭)
- 19日(木) 施設見学(アリーチェ・ストウリアーレ幼稚園、体育館、イ・ティエリデイサービスセンター、ジョヴァンニ・ボッカチオ中学校)
ボリス協会会場にて交流会(ワークショップ)<16:30>
- 20日(金) バスでシエナ市へ移動後、市内見学(カンポ広場、ドウオーモ、博物館)<8:30>
各受け入れ家庭へ 家庭訪問(1家庭)<19:00>
- 21日(土) 各受け入れ家庭での生活 お別れ夕食会<19:30>
- 22日(日) 集合<8:00>チェルタルド発
ローマ着後、市内見学(コロッセオ、パンテオン、トレヴィの泉、スペイン広場等)<12:00>
ホテル着<22:00>
- 23日(月) ホテル発 <7:45>
終日 ローマ市内見学(ヴァチカン美術館、サンピエトロ寺院、真実の口、カタコンベ、ローマ三越、テルミニ駅地下)<7:45>
ホテル着<21:30>
- 24日(火) ホテル発 <9:30>
ローマ空港着<9:20>ローマ発(アリタリア航空AZ784便)<13:05>
- 25日(水) 成田空港着<7:12>
甘楽町役場着<13:45>

団員名簿

役 職	氏 名	住 所	備 考
団 長	吉 田 恭 一	甘楽町大字上野	議 会 議 長
随 行 員	佐 俣 米 子	〃 白倉	町 職 員
〃	森 平 仁 志	〃 天引	町 職 員
通 訳	一ノ瀬 俊 和	東京都稲城市矢野口	国立音楽大学准教授

氏 名	所 属	性 別	住 所	チェルタルド市受入家庭
齋 藤 真 耶	一中2-2	女	甘楽町大字白倉	ファビオ・カルヴェッティ
堀 口 あずさ	一中2-2	女	〃 小川	FABIO CALVETTI
矢 嶋 千 春	一中2-3	女	〃 福島	ルチャーノ・ダントーニオ
三 木 望 実	一中2-3	女	〃 白倉	LUCIANO DANTONIO
鈴 木 彩 子	一中3-1	女	〃 庭谷	ティツィアーノ・ヴォルテラーニ
新 嶋 愛	一中3-1	女	〃 上野	TIZIANO VOLTERRANI
保 坂 美 里	一中3-1	女	〃 福島	ルチャーノ・ナルディ
五十里 志 穂	一中3-2	女	〃 天引	LUCIANO NALDI
市 川 優 梨	一中2-3	女	〃 福島	ムッセッティ・アドリアーノ
新 井 敦 子	一中3-3	女	〃 造石	MUSSETTI ADRIANO
清 水 寧 久	一中3-2	男	〃 造石	ロベルト・セリヤーコピ
高 麗 雄 一 郎	二中3-A	男	〃 善慶寺	ROBERTO SERIACOPI
峯 岸 拓 也	一中2-2	男	〃 天引	ダニエーレ・ラッゼレッティ
飯 塚 大 晃	三中2年	男	〃 秋畑	DANIELE LAZZERETTI
高 麗 真 維 佳	二中2-A	女	〃 国峰	サルヴァトーレ・ヴァッカーロ
田 村 佳 子	三中2年	女	〃 秋畑	SALVATORE VACCARO

第11次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－2006年8月(平成18年)－

- 16日(水) 甘楽町役場出発<6:30>
成田空港着<9:40>成田空港発(アリタリア航空AZ787便)<13:05>ミラノ着<17:45>
ホテル着<20:50>
- 17日(木) ホテル発<8:00>
ミラノ市内見学(ドウオーモ、ガレリア、スカラ座、サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会、スフォルツェスコ城等)
バスでフィレンツェへ移動後、ホテル着<17:45>
- 18日(金) ホテル発<9:00>
フィレンツェ市内見学(ドウオーモ、ヴェッキオ橋、シニョリーア広場、ヴェッキオ宮殿、ウフィツィ美術館等)
バスでチェルタルドへ移動後、チェルタルド市着<16:30>
プレトリオ宮殿にて歓迎式後、受入家庭へ<18:00>
- 19日(土) 各受け入れ家庭での生活
- 20日(日) 各受け入れ家庭での生活
- 21日(月) チェルタルド市発<8:50>バスでシエナへ移動<9:45>市内見学(カンポ広場、ドウオーモ)
バスでピエンツァへ移動後、昼食<13:30> 昼食後、市内見学
チェルタルド市着<18:00> 各受入家庭へ
- 22日(火) 各受け入れ家庭での生活 家庭訪問(8家庭)
- 23日(水) 市内施設見学<10:00>(スポーツ施設、幼稚園、小中学校等)
日・伊サッカー交流試合<18:00>
- 24日(木) 各受け入れ家庭での生活 お別れ夕食会<20:00>
- 25日(金) 集合<8:00>チェルタルド発
ローマ着<12:35> 昼食後、市内見学(トレヴィの泉、スペイン広場、パンテオン、ナヴォーナ広場等)<12:00>
ホテル着<21:00>
- 26日(土) ホテル発 <7:15>
ローマ市内見学(ヴァチカン美術館、サンピエトロ寺院、システィーナ礼拝堂、真実の口、コロッセオ、カタコンベ等)
ホテル着<20:40>
- 27日(日) ホテル発<10:00> ローマ空港着<10:40> ローマ発(アリタリア航空AZ784便)<14:45>
- 28日(月) 成田空港着<8:45>
甘楽町役場着<15:00>

団員名簿

役 職	氏 名	住 所	備 考
団 長	横 尾 次 子	甘楽町大字金井	教 育 委 員
随 行 員	田 中 高 志	" 上野	町 職 員
"	原 田 直 美	" 天引	町 職 員
通 訳	一ノ瀬 俊 和	東京都稲城市矢野口	国立音楽大学准教授

氏 名	所 属	性 別	住 所	チェルタルド市受入家庭
碓 氷 武 尊	一中2-3	男	甘楽町大字造石	カルロ・ヴァンニ
江 原 佑 輔	一中3-1	男	" 金井	CARLO VANNI
峯 岸 宗一郎	一中3-2	男	" 天引	アンドレア・モッレツリ
田 村 智	三中3年	男	" 秋畑	ANDREA MORELLI
松 浦 悠 司	二中3-A	男	" 上野	ステファノー・カラマンドレイ
新 井 健 斗	新嶋3-D	男	" 善慶寺	STEFANO CALAMANDREI
園 田 静 香	一中3-1	女	" 福島	ルチアーノ・ナルディ
強 矢 さつき	一中3-2	女	" 白倉	LUCIANO NALDI
小 菅 穂奈実	一中3-3	女	" 天引	ジャンカルロ・ガロージ
齋 藤 亜 耶	一中3-3	女	" 小川	GIANCARLO GAROSI
田 村 朱 莉	二中2-A	女	" 小幡	ルチアーノ・バンディーニ
北 村 彩 乃	二中2-B	女	" 小幡	LUCIANO BANDINI
木 暮 葵	二中2-B	女	" 善慶寺	ダニエーラ・カンティーニ
吉 田 裕 美	二中3-A	女	" 上野	DANIELE CANTINI
高 麗 史 織	二中3-A	女	" 国峰	ネヴィオ・ヴァンニ
関 夏 季	二中3-B	女	" 上野	NEVIO VANNI

第12次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－2008年8月(平成20年)－

- 15日(金) 甘楽町役場出発<6:00>成田空港着<11:00>
成田空港発(アリアリア航空AZ7787便)<13:45>ミラノ着<19:00>
ホテル着<22:00>
- 16日(土) ホテル発<10:00>
ミラノ市内見学(スフォルツェスコ城、ドウオーモ、スカラ座、サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会等)
ミラノ発<14:45>バスでチェルタルド市へ移動
対面式<19:00>
- 17日(日) 各受け入れ家庭での生活
- 18日(月) 学校教育施設及びスポーツ施設見学<9:30>
市役所にて歓迎式<12:40>
各受入家庭での生活
- 19日(火) チェルタルド発<8:30>受入家庭と電車でフィレンツェへ
フィレンツェへ見学(ミケランジェロ広場、ドウオーモ、ヴェッキオ橋、ウフィッツィ美術館)
フィレンツェ発<18:00>電車でチェルタルド各受入家庭へ
- 20日(水) 各受け入れ家庭での生活 家庭訪問(8家庭)
- 21日(木) ダボレーゼ湖フィッシングセンターにて魚釣り大会<9:30>
お別れ夕食会<21:00>
- 22日(金) 市庁舎前集合<7:30>チェルタルド市発<8:15>
ローマ着<12:00>市内見学(コロッセオ、フォロロマーノ、トレヴィの泉)
- 23日(土) ホテル発<9:30>
ローマ市内見学(ヴァチカン美術館、システリーナ礼拝堂、サンピエトロ寺院、スペイン広場、カタコンベ等)
ホテル着<21:00>
- 24日(日) ホテル発<9:00>ローマ市内見学(サンタマリアイン・コスメディン教会、カンピドリオ広場)
ローマ空港着<12:00>
ローマ発<14:20>
- 25日(月) 成田空港着<11:00>
甘楽町役場着<17:00>帰国報告<17:15>解散<17:45>

団員名簿

役 職	氏 名	住 所	備 考
団 長	柴 山 豊	甘楽町大字福島	教 育 長
随 行 員	山 田 勇	" 白倉	町 職 員
"	斎 藤 はるみ	" 秋畑	町 職 員
通 訳	一ノ瀬 俊 和	東京都稲城市矢野口	国立音楽大学教授

氏 名	所 属	性別	住 所	チェルタルド市受入家庭
佐 俣 有 為	一中3-1	男	甘楽町大字福島	カルロ・ヴァンニ
高 橋 龍 司	三中 3年	男	" 秋畑	CARLO VANNI
齊 藤 和 樹	一中3-2	男	" 金井	ステファノー・カラマンドレイ
新 井 佑 輔	一中3-3	男	" 庭谷	STEFANO CALAMANDREI
金 井 健 司	一中3-3	男	" 福島	マッシモ・トウンミナーロ
齋 藤 優 貴	一中3-3	男	" 上野	MASSIMO TUMMINARO
金 井 健 人	二中2-A	男	" 国峰	フランコ・ジャンネッリ
小 間 大 輔	二中2-B	男	" 善慶寺	FRANCO GIANNELLI
富 田 彩	一中2-1	女	" 天引	ルチアーノ・ナルディ
菊 池 美 希	一中2-3	女	" 白倉	LUCIANO NALDI
山 本 美 紀	一中2-1	女	" 福島	ダニエーレ・カンティーニ
富 岡 かれん	二中2-B	女	" 善慶寺	DANIELE CANTINI
曲 輪 ゆうみ	一中2-2	女	" 小川	カロジェーロ・ステッラ
村 田 祥 子	二中2-B	女	" 小幡	CALOGERO STELLA
齋 藤 良 夢	一中2-2	女	" 白倉	ネヴィオ・ヴァンニ
横 山 果 奈	三中 2年	女	" 秋畑	NEVIO VANNI

第13次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－2010年8月(平成22年)－

- 16日(月) 甘楽町役場出発<5:54>成田空港着<9:15>
成田空港発(アリアリア航空AZ787便)<12:15>ミラノ着<17:30>
ホテル着<21:20>
- 17日(火) ホテル発<8:30>
ミラノ市内見学(スカラ座、ドゥオーモ等)
ミラノ発<13:30>バスでチェルタルド市へ移動
対面式<18:30>
- 18日(水) 市内見学<9:00>
保育園見学<10:30>
市役所にて歓迎式<12:15>
洋弓体験<18:00>
- 19日(木) チェルタルド市発<9:00>受入家庭と電車でフィレンツェへ
フィレンツェ見学(ドゥオーモ、ヴェッキオ橋、ウフィッツィ美術館等)
- 20日(金) 各受け入れ家庭での生活 家庭訪問(8家庭)
- 21日(土) 各受け入れ家庭での生活
- 22日(日) 各受け入れ家庭での生活
お別れ夕食会<20:30>
- 23日(月) 市庁舎前集合<7:30>チェルタルド市発
ローマ着<11:30>市内見学(コロッセオ、フォロロマーノ、トレヴィの泉、スペイン広場)
ホテル着<21:00>
- 24日(火) ホテル発<8:45>
ローマ市内見学(ヴァチカン美術館、サンピエトロ大聖堂、サンピエトロ広場等)
ホテル着<21:15>
- 25日(水) ホテル発<8:30>ローマ市内見学(サンタ・マリアイン・コスメディン教会、カンピドリオ広場)
ローマ空港着<12:00>
ローマ発<14:20>
- 26日(木) 成田空港着<10:20>
甘楽町役場着<15:10>帰国報告後解散

団員名簿

役 職	氏 名	住 所	備 考
団 長	黛 哲 夫	甘楽町大字秋畑	国交振副会長・町議会議員
随 行 員	富 田 浩	富岡市富岡	町 職 員
"	富 田 幸 江	甘楽町大字天引	町 職 員
通 訳	一ノ瀬 俊 和	東京都稲城市矢野口	国立音楽大学教授

氏 名	所 属	性別	住 所	チェルタルド市受入家庭
齋 藤 丞 馬	一中1-2	男	甘楽町大字白倉	マッシモ・トゥンミナーロ
三 木 大 輝	一中1-2	男	" 天引	MASSIMO TUMMINARO
時 澤 美 路	一中1-2	女	" 金井	ルカ・ベルニーニ
黒 澤 奈 恵	一中2-1	女	" 天引	LUCA BERNINI
山 田 穂 波	一中3-1	女	" 白倉	ダンテ・ネージ
久 保 美 咲	一中3-2	女	" 白倉	DANTE NESI
清 水 宏 剛	一中3-2	男	" 福島	マッシモ・ラッゼーリ
田 村 樹	二中2-A	男	" 小幡	MASSIMO LAZZWRI
児 玉 涼 太	二中1-B	男	" 善慶寺	レルヴァオ・ジョアオ・フィグエイラ
久 保 拓 也	二中1-A	男	" 小幡	RELVAO JOAO FIGUEIRA
矢 島 日 向	二中2-A	男	" 小幡	マウロ・トライーニ
田 村 啓	二中2-B	男	" 上野	MAURO TRAINI
小 池 まりな	新島1-D	女	" 福島	リド・オルシ
塚 越 奈津実	新島1-D	女	" 福島	LIDO ORSI
須 田 瑤 子	新島2-E	女	" 福島	ファビオ・カンピノーティ
田 中 真 未	二中3-B	女	" 善慶寺	FABIO CAMPINOTI

第14次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－2012年8月(平成24年)－

- 15日(水) 甘楽町役場出発<7:00>成田空港着<10:15>
成田空港発(アリタリア航空AZ785便)<13:15>ローマ着<18:43>
ホテル着<21:45>
- 16日(木) ホテル発<9:00>
ローマ市内見学(コロッセオ、サンタ・マリア・イン・コスメディン教会等)
サンカリストロ見学(カタコンベ)
ローマ市内見学(トレヴィの泉、スペイン広場等)
ホテル着<20:30>
- 17日(金) ホテル発<8:30>
ヴァチカン市国見学(ヴァチカン美術館、サンピエトロ大聖堂等)
ローマ発<13:40>バスでチェルタルド市へ移動
対面式<17:30>
- 18日(土) 市役所にて歓迎式<10:00>
各受け入れ家庭での生活 家庭訪問(1家庭)
- 19日(日) チェルタルド市発<8:45>受入家庭主催のバスツアーでピサへ
- 20日(月) 各受け入れ家庭での生活 家庭訪問(7家庭)
- 21日(火) チェルタルド発<8:00>受入家庭と電車でフィレンツェへ
フィレンツェ見学(ドゥオーモ、ヴェッキオ橋、ウフィッツィ美術館等)
- 22日(水) チェルタルド市発<9:00>受入家庭主催のバスツアーでヴィンチ村へ
ヴィンチ村見学(レオナルド・ダ・ヴィンチ生家等)
チェルタルド市着<13:15>各受入家庭へ
お別れ夕食会<20:00>
- 23日(木) 25周年記念モニュメントロータリー前集合<7:15>チェルタルド市発<7:30>
ミラノ着<12:10>市内見学(スカラ座、ドゥオーモ、サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会等)
ホテル着<19:45>
- 24日(金) ホテル発<9:00>ミラノ市内見学(サン・シーロ競馬場、サッカー場)
ミラノ空港着<12:00>
ミラノ発<14:35>
- 25日(土) 成田空港着<9:25>
甘楽町役場着<15:00>帰国報告後解散

団員名簿

役職	氏名	住所	備考
団長	野口英明	甘楽町大字白倉	教育委員長
随行員	田村昌徳	〃 善慶寺	町職員
〃	大河原敦子	〃 小幡	町職員
通訳	一ノ瀬俊和	東京都稲城市矢野口	国立音楽大学教授

氏名	所属	性別	住所	チェルタルド市受入家庭
小柏結	一中2-1	女	甘楽町大字天引	ファブリッツィオ・ムニャイーニ
堀口桃香	一中2-1	女	〃 小川	FABRIZIO MUGNAINI
勅使河原有希	一中2-1	女	〃 小川	ルチアーノ・ジョヴァンネッティ
池田ひな乃	一中2-2	女	〃 小川	LUCIANO GIOVANNETTI
堀口琴乃	一中2-1	女	〃 小川	イタロ・ペコレッティ
金井理沙	一中3-1	女	〃 福島	ITALO PECORETTI
村田真子	二中1-A	女	〃 小幡	ダンテ・ネーズィ
田中里奈	二中3-B	女	〃 小幡	DANTE NESI
黒澤勇星	一中2-2	男	〃 造石	ファビオ・ヴェッキャレッリ
富岡皇貴	二中1-B	男	〃 善慶寺	FABIO VECCHIARELLI
根岸敬介	一中3-1	男	〃 福島	エリアーノ・アルジッリ
宮代典明	一中3-2	男	〃 白倉	ELIANO ARZILLI
加藤大虎	二中2-A	男	〃 秋畑	ヴァレリオ・ベッシ
堀口晴輝	二中2-A	男	〃 上野	VALERIO BESSI
松田祐斗	二中2-A	男	〃 善慶寺	アントニオ カロッシ
丸澤幹仁	二中2-A	男	〃 善慶寺	ANTONIO CALOSI

第15次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団

研修概要－2014年8月(平成26年)－

- 15日(金) 甘楽町役場出発<4:50>成田空港着<8:30>
成田空港発(オランダ航空KL862便)<10:20>アムステルダム着<14:50>
アムステルダム発(オランダ航空KL1607便)<17:40>ローマ着<19:50>
ホテル着<21:00>
- 16日(土) ホテル発<8:00>
ヴァチカン市国見学(ヴァチカン美術館、サンピエトロ大聖堂等)
ローマ市内見学(コロッセオ、スペイン広場等)
ホテル着<21:00>
- 17日(日) ホテル発<8:00>
ローマ市内見学(トレヴィの泉、サンタ・マリア・イン・コスメディン教会等)
ローマ発<13:30>バスでチェルタルド市へ移動
マチェッリ広場青少年センター到着・対面式<17:30>
- 18日(月) 各受け入れ家庭での生活
19日(火) 各受け入れ家庭での生活
20日(水) 市役所にて歓迎式<9:40>
各受け入れ家庭での生活 家庭訪問(4家庭)
- 21日(木) チェルタルド発<8:30>受入家庭と電車でフィレンツェへ
フィレンツェ見学(ドゥオモ、ヴェッキオ橋、ウフィッツィ美術館等)
- 22日(金) 各受け入れ家庭での生活 家庭訪問(4家庭)
演劇鑑賞<19:00>
お別れ夕食会<20:30>
- 23日(土) 25周年記念モニュメントロータリー前集合<7:30>チェルタルド市発<7:50>
ミラノ着<12:30>市内見学(ドゥオモ、サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会等)
ホテル着<20:00>
- 24日(日) ホテル発<8:00>
ミラノ空港着<8:30>
ミラノ発(オランダ航空KL1620便)<10:55>アムステルダム着<12:50>
アムステルダム発(オランダ航空KL861便)<14:40>
- 25日(月) 成田国際空港着<8:30>
甘楽町役場着<14:40>帰国報告後解散

団員名簿

役 職	氏 名	住 所	備 考
団 長	由 田 進	甘楽町大字上野	副 町 長
随 行 員	猿 谷 朋 子	富岡市下高瀬	町 職 員
"	小 林 俊 明	甘楽町大字白倉	都市農村交流協会職員
通 訳	一ノ瀬 俊 和	東京都稲城市矢野口	国立音楽大学教授

氏 名	所 属	性 別	住 所	チェルタルド市受入家庭
三 木 旭	一中1-3	男	甘楽町大字小川	ファービオ・モンタニャーニ
齊 藤 陸 都	一中2-1	男	" 小川	FABIO MONTAGNANI
松 井 亮	一中3-1	男	" 白倉	トネットウ・ナルディ・ミカエル
佐 野 暁 寿	二中2-A	男	" 小幡	TONET NARDI MICHAEL
鈴 木 志 音	一中3-2	男	" 小川	ダンテ・ネズィ
松 浦 匠	一中3-2	男	" 白倉	DANTE NESI
鶴 田 奈 々	一中2-1	女	" 天引	ルチャーノ・カポダルカ
廣 田 若 夏	一中2-1	女	" 福島	LUCIANO CAPODARCA
石 川 由 莉 奈	一中2-2	女	" 金井	ダーヴィデ・ピアッツィーニ
山 田 桃 花	一中2-2	女	" 金井	DAVIDE PIAZZINI
新 井 七 海	二中1-A	女	" 小幡	エマヌエーレ・ナッチ
郡 山 ももか	二中1-A	女	" 小幡	EMANUELE NACCI
富 岡 沙 彩	二中1-A	女	" 善慶寺	ニコラ・ブオノコレ
細 谷 遥 香	二中2-A	女	" 小幡	NICOLA BUONOCORE
松 田 真 帆	二中2-B	女	" 善慶寺	マルコ・ゼッキ
山 田 真 奈 美	二中3-B	女	" 小幡	MARCO ZECCHI

甘楽町国際交流年表

1983年(昭和58年)

4月 9日	県主催の「ふるさと巡回サロン」が甘楽町で開催される イタリア女流ジャーナリストのカルラ・ヴァンシオ女史とエツレ・コロー氏(イタリア文化会館)を招き町内5名県内5名の女性との懇談会が開催され、その際ヴァンシオ女史よりイタリア・チェルタルド市との姉妹都市提携が提案される チェルタルド市長あてに町長よりメッセージを送る
4月～7月	県(地域振興課)、イタリア文化会館などの側面的協力を得る
7月15日	チェルタルド市長へ姉妹都市関係樹立について文書を送る
7月23日	チェルタルド市長より姉妹都市協定の締結と使節団招待の正式文書到達
7月27日	町議会へ姉妹都市協定について経緯を報告、今後の運び方を説明
8月10日	姉妹都市協定書(原案)をチェルタルド市長へ送付
8月29日	姉妹都市協定書原案についての同意文書がチェルタルド市長より到達
9月12日	9月定例議会で姉妹都市協定書議決
10月 1日 ～ 2日	地域文化交流まつりに在日イタリア人7家族31人が来町した際、秋畑地区の民家に分宿し、地元のお祭りや行事に参加し交流を深める
10月19日	第1次チェルタルド市訪問甘楽町使節団を派遣 (11名、26日帰国)
10月20日	チェルタルド市プレトリオ宮殿にて友好親善姉妹都市協定書に調印
11月 3日	イタリア展を開催 以後、役場ロビーにて姉妹都市交流の関係資料を展示

1984年(昭和59年)

4月14日	第1次チェルタルド市使節団甘楽町を表敬訪問 (10名、17日帰国)
8月23日	町企画課長がチェルタルド市を訪問し、ワインの輸入などについて協議

1985年(昭和60年)

3月～	チェルタルド市よりイタリアワインを直輸入し、物産センターにて販売
5月18日	国際交流基金チャリティー事業として、「イタリア音楽テノールリサイタル」開催 (小幡小体育館)
6月26日	中学生の文通について、関係者(中学校先生ほか)打合せ 以後チェルタルド市中学生との文通が始まる
7月29日	イタリア語文化講座を開催(～8月9日) (講師:一ノ瀬俊和氏)
10月20日	第2次チェルタルド市訪問甘楽町使節

団を派遣 (12名、30日帰国)

1986年(昭和61年)

4月23日	甘楽町国際交流振興協会設立総会が開催される
6月28日	イタリア語文化講座を開催 (～7月8日) (講師:一ノ瀬俊和氏)
7月18日	第1次甘楽町中学生国際交流研修団をチェルタルド市へ派遣 (25名、内中学生20名、27日帰国)
8月 4日	第2次チェルタルド市使節団が甘楽町を表敬訪問 (20名、4日間滞在)

1987年(昭和62年)

5月 7日	英会話教室を開催 (～3月31日) (講師:ヌルハン・ヨセフィー氏)
8月 7日	イタリア語文化講座を開催(～9月29日) (講師:一ノ瀬俊和氏)
10月18日	第3次チェルタルド市訪問甘楽町使節団を派遣 チェルタルド市で甘楽町展開催 (11名、28日帰国)
	ツバキの木100本をチェルタルド市へ贈呈
11月30日	中国内モンゴ歌舞団が来町

1988年(昭和63年)

2月12日	財団法人甘楽町国際交流振興協会設立
5月12日	初級英会話教室を開催(～3月30日) (講師:ヌルハン・ヨセフィー氏)
5月13日	イタリア語文化講座を開催(～12月9日) (講師:一ノ瀬俊和氏)
5月17日	楽しい英会話教室を開催(～11月15日) (講師:和田穹男氏)
7月25日	設立記念事業「パスポート取得事業」の実施
8月 1日	英語指導助手(ALT)としてキャサリン・オースターさんが着任
8月20日	第2次甘楽町中学生国際交流研修団をチェルタルド市へ派遣 (25名、内中学生20名、30日帰国)
11月10日	「国際交流のまち」実施市町村として、自治省の指定を受ける
11月26日 ～29日	設立記念事業 国交振「台湾ツアー」の実施

1989年(平成元年)

3月	ブドウの木合唱団(東京)がチェルタルド市でコンサート開催
5月 1日	チェルタルド市長ネヴィオ・ヴァンニ氏甘楽町を訪問 (5日間滞在)
5月11日	初級英会話教室を開催(～3月29日) (講師:ヌルハン・ヨセフィー氏)
5月15日	中国哈爾濱市へ第1次甘楽町視察団

5月19日	出発 (3名、22日帰国) イタリア語文化講座を開催(～1月26日) (講師:一ノ瀬俊和氏)
5月24日	楽しい英会話教室を開催(～1月10日) (講師:和田穹男氏)
8月 1日	英語指導助手(ALT)としてクリストファー・シロタさんが着任
9月22日 ～29日	町内各中学校でイタリア講演会を開催
10月 8日 ～10日	哈爾濱市児童書画作品展を開催
10月 8日 ～15日	町発足30周年記念事業として、チェルタルド市より絵画を借り受け「ボッカチオ記念絵画展」を開催
10月18日 ～22日	東京都北区において「ボッカチオ記念絵画展」を開催
10月25日	第4次チェルタルド市訪問甘楽町使節団を派遣 (20名、11月6日帰国)

1990年(平成2年)

3月	「国際交流アラカルト」「伊語及び英語町紹介パンフレット」を作成
4月 8日	城下町小幡さくらまつり武者行列に4カ国31名の外国人(東京在住留学生など)が参加
4月13日	イタリア語講座を開催(～1月25日) (講師:一ノ瀬俊和氏)
5月	町内小中学生の書画等を哈爾濱市へ送付
5月 9日	楽しい英会話教室を開催(～10月3日) (講師:和田穹男氏)
6月 5日	哈爾濱市へ第2次甘楽町視察団出発 (8名、11日帰国)
6月21日 ～26日	使節団員として訪伊した滝上祥一郎氏による写真展「中世の余光チェルタルド」が富岡市で開催される
8月 6日	第3次チェルタルド市使節団甘楽町を表敬訪問 (20名、11日帰国)
8月17日	第3次甘楽町中学生国際交流研修団をチェルタルド市へ派遣 (25名、内中学生20名、29日帰国)
10月 4日	英会話教室を開催(～3月14日) (講師:クリストファー・シロタ氏)
11月	哈爾濱市児童書画作品を展示
11月 8日	哈爾濱市医科大学講師劉蓬海氏研修生として来日(～1992年8月8日)
12月15日 ～1月 6日	チェルタルド市で滝上祥一郎氏写真展「中世の余光チェルタルド」が開催される

1991年(平成3年)

2月 1日 ～7日	チェルタルドの額縁展及びファビオ・カルヴェッティ氏絵画展「ラ・フォルマイル・コロレ」を甘楽町で開催
2月 9日 ～16日	ファビオ・カルヴェッティ氏絵画展を横浜で開催
2月19日	チェルタルドの額縁展及びファビオ・

～25日	カルヴェッティ氏絵画展を東京都北区で開催
4月12日	イタリア語講座を開催(～1月25日) (講師:一ノ瀬俊和氏)
4月14日	城下町小幡さくらまつり武者行列に8カ国25名の外国人(東京在住留学生など)が参加
5月14日	中国語講座を開催(～9月) (講師:郭姪莎氏)
5月16日	チェルタルド市長ネヴィオ・ヴァンニ氏甘楽町を訪問 (6日間滞在)
5月18日	第1次哈爾濱市使節団が来町 (5名、10日間滞在)
5月30日 ～6月 4日	ファビオ・カルヴェッティ氏絵画展「インナー・ヴィジョン」を富岡市で開催
7月19日	第5次チェルタルド市訪問甘楽町使節団を派遣 (18名、31日帰国)
8月 1日	英語指導助手(ALT)としてマイケル・ガラントさんが着任
8月26日	第1次哈爾濱市訪問甘楽町使節団を派遣 (11名、9月2日帰国)
8月29日	哈爾濱市教育委員会と友好交流覚え書(概要)
11月22日	町内小中学生の書画等をチェルタルド市及び哈爾濱市へ送付

1992年(平成4年)

3月27日	甲府市アマチュア合唱団チェルタルド市でコンサート開催
4月 9日	第2次哈爾濱市使節団が来町 (3名、6日間滞在)
4月12日	城下町小幡さくらまつり武者行列に8カ国31名の外国人(東京在住留学生など)が参加
4月17日	イタリア語講座を開催(～1月28日) (講師:一ノ瀬俊和氏)
7月26日	第1次チェルタルド市青年使節団が来町 (14名、9日間滞在)
8月17日	第4次甘楽町中学生国際交流研修団をチェルタルド市へ派遣 (24名、内中学生20名、29日帰国)
11月 2日	チェルタルド市長ネヴィオ・ヴァンニ一家甘楽町を訪問 (6日間滞在)
11月26日	哈爾濱市より工業研修生13名が来町
12月12日 ～1月10日	柳沢正人氏日本画展「刻(とき)」プレトリオ宮殿で開催

1993年(平成5年)

3月	町内小学生の書画を哈爾濱市へ送付
3月31日	マイクロバスを哈爾濱市へ贈呈
4月11日	城下町小幡さくらまつり武者行列に6カ国24名の外国人(研修生、町内在住外国人など)が参加
4月14日	町内小中学生の書画等をチェルタルド市へ送付
4月16日	イタリア語講座を開催(～1月28日) (講師:一ノ瀬俊和氏)

7月19日	甘楽町芸能使節団をチェルタルド市へ派遣、夏祭りメルカンティアに出演 (12名、26日帰国)
7月21日	英語指導助手(ALT)としてエリザベス・ホルトンさんが着任
7月22日	神戸市のコーラスグループ「アンサンブル須磨」メルカンティアに出演
8月 2日	第2次チェルタルド市青年使節団が来町 (18名、9日間滞在)
10月 5日	中国語講座を開催(～2月) (講師:佐俣福艶氏)
10月11日	第6次チェルタルド市訪問甘楽町使節団を派遣 (19名、21日帰国)
10月16日	チェルタルド市プレトリオ宮殿にて友好親善姉妹都市協定締結10周年共同宣言書に調印 財団法人甘楽町国際交流振興協会からチェルタルド市へ茶室贈呈
10月20日	ハル濱市より王興仁氏が来町
11月24日	ハル濱市工業研修生及び王興仁氏が帰国
11月30日 ～12月6日	柳沢正人氏日本画展「刻(とき)」を甘楽町で開催

1994年(平成6年)

1月23日	10周年記念事業として町民文化講座(楽しい旅そして国際交流)の共催 (講師:女優 中野良子氏)
2月 3日 ～4日	10周年記念事業として町内3中学校を巡回しイタリアについての講演会 (講師:一ノ瀬俊和氏)
3月	チェルタルド市姉妹都市交流 10周年記念事業として記念誌作成『一粒の麦』
4月10日	城下町小幡さくらまつり武者行列に7カ国15名の外国人(町内在住外国人など)が参加
4月15日	イタリア語講座を開催(～1月) (講師:一ノ瀬俊和氏)
5月26日	第2次ハル濱市訪問甘楽町使節団を派遣 (17名、6月2日帰国)
8月 1日	第4次チェルタルド市使節団甘楽町を表敬訪問 (16名、6日間滞在)
8月17日	第5次甘楽町中学生国際交流研修団をチェルタルド市へ派遣 (24名、内中学生20名、29日帰国)
10月	町内小中学生の書画等をチェルタルド市及びハル濱市へ送付
11月	第5次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成
11月16日	チェルタルド市より中学生による文通の申入
12月11日	文化講演会「豊か心、豊かな家族」の共催 (講師:NHKアナウンサー一瀬久美子氏)

1995年(平成7年)

1月12日	チェルタルド市へ甘楽町中学生23名
-------	-------------------

1月18日	の手紙を送付 町内小中学生の書画等をチェルタルド市及びハル濱市へ送付
3月11日	チェルタルド市中学生より19通の手紙到達
4月14日	イタリア語講座を開催(～1月) (講師:一ノ瀬俊和氏)
4月14日 ～16日	ファビオ・カルヴェッティ氏絵画展のため来日、甘楽町表敬訪問
4月16日	城下町小幡さくらまつり武者行列に6カ国17名の外国人(町内在住外国人など)が参加
5月 2日 ～26日	松井千明氏による写真展(Buongiorno Italia 你好中国)が文化会館で開催
10月 1日	第3次ハル濱市訪問甘楽町使節団を派遣 (17名、8日帰国)
10月19日	町内小中学生の書画等をチェルタルド市及びハル濱市へ送付
10月22日	国際交流祭参加(前橋市)
11月16日 ～1月29日	ハル濱市児童・生徒絵画作品展 (甘楽町文化会館)

1996年(平成8年)

4月14日	城下町小幡さくらまつり武者行列に5カ国12名の外国人(町内在住外国人など)が参加
4月19日	イタリア語講座を開催(～1月) (講師:町田 亘氏)
5月 8日	第4次ハル濱市訪問甘楽町使節団を派遣 (6名、16日帰国)
6月14日	チェルタルド市よりジョヴァンニ・ボッカチオの胸像を受贈
7月15日	第1次ハル濱市中学生研修団が来町(児童・生徒10名、教師10名、22日帰国)
7月22日	英語指導助手(ALT)としてクリア・ステンニングさんが着任
8月16日	第6次甘楽町中学生国際交流研修団をチェルタルド市へ派遣 (24名、28日帰国)
12月	町内小中学生の書画等をチェルタルド市及びハル濱市へ送付
12月10日	第5次チェルタルド市使節団が来町 (3名、15日帰国)
12月11日	ボッカチオ胸像除幕式

1997年(平成9年)

2月	第6次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成
4月13日	城下町小幡さくらまつり武者行列に4カ国7名の外国人(町内在住外国人など)が参加
5月23日	イタリア語講座を開催(～12月) (講師:町田 亘氏)
7月	英語指導助手(ALT)としてミッシェル・コーリーさんが着任
9月22日	第7次チェルタルド市訪問甘楽町使節団を派遣 (20名、10月1日帰国)

10月27日	滞在中、ミケーレ・フラミア氏よりフレスコ画を受贈(甘楽町文化会館)
12月 7日	ハルビン市より行政研修生として孫鳳喜氏が来町(1年間)
12月	チェルタルド市名誉市民アラン氏が来町
12月	町内小中学生の書画等をチェルタルド市及びハルビン市へ送付

1998年(平成10年)

4月12日	城下町小幡さくらまつり武者行列に5カ国14名の外国人(町内在住外国人など)が参加
5月 8日	イタリア語講座を開催(～12月、15回) (講師:町田 亘氏)
8月 3日	第3次ハルビン市使節団が来町 (2名、10日帰国)
8月14日	第7次甘楽町中学生国際交流研修団をチェルタルド市へ派遣 (20名、26日帰国)
8月17日	第1次甘楽町中学生国際交流研修団をハルビン市へ派遣(20名、24日帰国)
10月23日	ハルビン市行政研修生孫鳳喜氏が帰国

1999年(平成11年)

3月	第7次甘楽町中学生国際交流研修団及び第1次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成
3月	町内小中学生の書画等をチェルタルド市及びハルビン市へ送付
4月 4日	城下町小幡さくらまつり武者行列に7カ国9名の外国人(町内在住外国人など)が参加
5月 7日	イタリア語講座を開催(～12月、15回) (講師:町田 亘氏)
5月24日	第5次ハルビン市訪問甘楽町使節団を派遣 (20名、31日帰国)
6月 2日	中国語講座を開催(～11月、10回) (講師:佐俣福艶氏)
7月	英語指導助手(ALT)としてピーター・ブロートンさんが着任
8月 2日	第2次ハルビン市中学生研修団(少年宮芸術団)が来町 (21名、9日帰国)
8月 3日	第3次チェルタルド市青年使節団が来町 (15名、12日帰国)

2000年(平成12年)

3月	町内小中学生の書画等をチェルタルド市及びハルビン市へ送付
4月 9日	城下町小幡さくらまつり武者行列に4カ国13名の外国人(町内在住外国人など)が参加
5月12日	イタリア語講座を開催(～12月、15回) (講師:町田 亘氏)
5月16日	中国語講座を開催(～1月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
8月14日	第8次甘楽町中学生国際交流研修団

8月18日	をチェルタルド市へ派遣 (20名、26日帰国) 第2次甘楽町中学生国際交流研修団をハルビン市へ派遣(20名、25日帰国)
-------	--

2001年(平成13年)

1月	第8次甘楽町中学生国際交流研修団及び第2次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成
3月	町内小中学生の書画等をチェルタルド市及びハルビン市へ送付
4月 8日	城下町小幡さくらまつり武者行列に3カ国8名の外国人(町内在住外国人など)が参加
4月20日	第4次ハルビン市使節団(教育委員会)が来町 (4名、21日帰国)
5月11日	イタリア語講座を開催(～12月、15回) (講師:町田 亘氏)
6月 5日	中国語講座を開催(～12月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
8月 1日	「東洋と西洋 終わり無き美の神秘」～26日 甘楽町絵画展の開催(甘楽町文化会館)
8月 6日	英語指導助手(ALT)としてケンドラ・アン・リッチーさんが着任
8月 6日	第3次ハルビン市中学生研修団が来町 (20名、13日帰国)
8月25日	テアトロ・キズメット「美女と野獣」甘楽町公演を開催
12月 1日	～25日 チェルタルド市茶室「甘楽庵」周辺整備資料展の開催(ギャラリー大手門)

2002年(平成14年)

2月 4日	第5次ハルビン市使節団(教育委員会)が来町 (4名、5日帰国)
3月	町内小中学生の書画等をチェルタルド市及びハルビン市へ送付
4月14日	城下町小幡さくらまつり武者行列に5カ国9名の外国人(町内在住外国人など)が参加
5月 7日	中国語講座を開催(～12月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
5月10日	イタリア語講座を開催(～12月、15回) (講師:町田 亘氏)
8月 5日	英語指導助手(ALT)としてアレスター・ジェームス・プリンスさんが着任
8月17日	第9次甘楽町中学生国際交流研修団をチェルタルド市へ派遣 (20名、29日帰国)
8月19日	第3次甘楽町中学生国際交流研修団をハルビン市へ派遣(20名、26日帰国)
9月25日	第8次チェルタルド市訪問甘楽町使節団を派遣 (24名、10月2日帰国)
11月27日	第6次ハルビン市使節団(放送大学代表团)が来町 (7名、28日帰国)
12月19日	第7次ハルビン市使節団(教育代表团)が来町 (4名、20日帰国)

2003年(平成15年)		2月	町内小中学生の書画等をチエルタルド市及びハル濱市へ送付
1月	第9次甘楽町中学生国際交流研修団及び第3次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成	5月10日	中国語講座を開催(～11月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
2月	町内小中学生の書画等をチエルタルド市及びハル濱市へ送付	7月25日	英語指導助手(ALT)としてイボンヌ・ロさんが着任
4月 6日	城下町小幡さくらまつり武者行列に2カ国5名の外国人(町内在住外国人など)が参加	8月 1日	第5次ハル濱町中学生研修団が来町 (19名、8日帰国)
5月13日	中国語講座を開催(～12月、15回) (講師:佐俣福艶氏)	8月17日	第4次チエルタルド市青年使節団が来町 (17名、24日帰国)
5月15日	アダルトのための英会話教室を開催(～7月、10回) (講師:アレスター・ジェームス・プリンス氏)	11月 4日	第9次チエルタルド市訪問甘楽町使節団を派遣 (20名、12日帰国)
5月16日	イタリア語講座を開催(～11月、15回) (講師:町田 亘氏)	2006年(平成18年)	
2004年(平成16年)		2月 2日	チエルタルド市及びハル濱市絵画等作品展を開催 (甘楽町文化会館)
2月 6日	第4次ハル濱町中学生研修団が来町 (20名、13日帰国)	～19日	
2月24日	第6次チエルタルド市使節団が来町 (4名、29日帰国)	2月	町内小中学生の書画等をチエルタルド市及びハル濱市へ送付
2月27日	友好親善姉妹都市協定締結20周年、イタリア街道記念碑除幕、記念植樹、共同宣言書調印式	5月 9日	中国語講座を開催(～11月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
2月27日	柳沢正人、ファビオ・カルヴェッティ2人展「星を夢み、時空を超えて」開催	7月 8日	文化交流使節団をチエルタルド市へ派遣 (5名、15日帰国)
～3月21日	滝上祥一郎氏写真展「中世の余光チエルタルド」開催	7月10日	文化交流展覧会「手・心・詩」をチエルタルド市で開催
2月27日		～31日	
～3月 7日		8月16日	第11次甘楽町中学生国際交流研修団をチエルタルド市へ派遣 (20名、28日帰国)
3月	チエルタルド市姉妹都市交流 20周年記念事業として記念誌作成『一粒の麦Ⅱ』	8月18日	第5次甘楽町中学生国際交流研修団をハル濱市へ派遣 (15名、25日帰国)
3月 9日	松井千明氏写真展「ブオンジョルノ イタリア」開催	12月	第11次甘楽町中学生国際交流研修団及び第5次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成
～21日		2007年(平成19年)	
3月19日	町内小中学生の書画等をチエルタルド市及びハル濱市へ送付	2月 2日	第7次チエルタルド市使節団が来町 (3名、11日帰国)
5月11日	中国語講座を開催(～11月、15回) (講師:佐俣福艶氏)	4月13日	ニュージーランド オタキカレッジ生徒が来町 (15名、20日帰国)
5月21日	イタリア語講座を開催(～12月、15回) (講師:町田 亘氏)	5月15日	中国語講座を開催(～11月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
7月26日	英語指導助手(ALT)としてヨシユキ・ゴヤさん、ローラ・ネリー・バスケスさんが着任	5月18日	イタリア語講座を開催(～12月、15回) (講師:横山修一郎氏)
7月31日	アフリカ・ウガンダ少年野球チームが来町、甘楽二中野球部と親善試合等で交流 (15名、8月4日帰国)	7月30日	英語指導助手(ALT)としてケネス・アセリーさんが着任
8月14日	第10次甘楽町中学生国際交流研修団をチエルタルド市へ派遣 (20名、25日帰国)	8月 3日	第6次ハル濱町中学生研修団が来町 (20名、10日帰国)
8月16日	第4次甘楽町中学生国際交流研修団をハル濱市へ派遣(18名、23日帰国)	8月 6日	英語指導助手(ALT)としてクリスタル・ハミルトンさんが着任
9月 4日	初級英会話スクールを開催(～2月、22回) (講師:アンドリュー・ウェッセル氏)	8月17日	第6次甘楽町中学生国際交流研修団をハル濱市へ派遣 (15名、24日帰国)
2005年(平成17年)		8月17日	町内小中学生の書画等をハル濱市へ送付
1月	第10次甘楽町中学生国際交流研修団及び第4次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成	10月 2日	文化交流展覧会を開催 (甘楽町文化会館)
		～ 7日	
		10月 5日	第8次チエルタルド市使節団(文化交流使節団)が来町 (3名、13日帰国)
		10月11日	文化交流展覧会を開催

～17日	(東京都北区「北とぴあ」)
10月24日	第8次哈爾濱市使節団(教育代表団)が来町 (6名、26日東京へ)
12月	第6次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成

2008年(平成20年)

2月 1日	姉妹自治体交流表彰において、町が「総務大臣賞」を受賞
2月 8日	哈爾濱市「氷祭りツアー」の実施 (26名、11日帰国)
5月20日	中国語講座を開催(～10月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
5月23日	イタリア語講座を開催(～11月、15回) (講師:横山修一郎氏)
8月 1日	第5次チェルタルド市青年使節団が来町 (16名、7日間滞在、9日帰国)
8月15日	第12次甘楽町中学生国際交流研修団をチェルタルド市へ派遣 (20名、25日帰国)
8月15日	町内小中学生の書画等をチェルタルド市へ送付
11月22日	第10次チェルタルド市訪問甘楽町使節団を派遣 (10名、30日帰国)
11月25日	チェルタルド市プレトリオ宮殿にて開催された友好親善姉妹都市協定締結25周年記念式典に参列し、共同宣言書に調印 茂原町長、一ノ瀬俊和氏にチェルタルド市名誉市民の称号が授与される 記念碑除幕式、記念植樹
12月	第12次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成

2009年(平成21年)

4月10日～17日	ニュージーランド オタキカレッジ生徒が来町 (18名)
5月17日	チェルタルド市訪問ツアーの実施 (16名、24日帰国)
5月19日	中国語講座を開催(～10月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
7月27日	英語指導助手(ALT)としてトーマス・シューマツハーさん、ジャクリン・ケントさんが着任
8月 3日	第7次哈爾濱市中学生研修団が来町 (20名、10日帰国)
8月17日	第7次甘楽町中学生国際交流研修団を哈爾濱市へ派遣 (19名、24日帰国)
8月17日	町内小中学生の書画等を哈爾濱市へ送付
9月19日	甄培徳氏が来町
10月31日	第9次チェルタルド市使節団が来町 (6名、11月4日帰国)
11月 2日	第9次哈爾濱市使節団が来町(教育局6名、市政府1名、大使館員1名) (教育局、大使館員は4日東京へ、市政府は6日帰国)
11月 3日	町発足50周年記念式典にチェルタルド

12月	市使節団、哈爾濱市使節団が参列 第7次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成
-----	---

2010年(平成22年)

2月20日	ニュージーランド オタキ市訪問使節団を派遣 (8名、25日帰国)
5月13日	北京・哈爾濱市訪問ツアーの実施 (32名、17日帰国)
5月25日	中国語講座を開催(～10月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
7月26日	英語指導助手(ALT)としてレイチェル・タケットさんが着任
8月 1日	第6次チェルタルド市青年使節団が来町 (14名、7日帰国)
8月16日	第13次甘楽町中学生国際交流研修団をチェルタルド市へ派遣 (20名、26日帰国)
8月16日	町内小中学生の書画等をチェルタルド市へ送付
9月30日	ニュージーランド ハミルトン市セントジョンズカレッジ生徒が来町 (11名、10月3日帰国)
11月 5日	第11次チェルタルド市訪問甘楽町使節団を派遣、チェルタルド市・哈爾濱市と会談 (10名、14日帰国)
12月	第13次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成

2011年(平成23年)

4月21日	チェルタルド市で東日本大震災義援金募集のためのサッカー親善試合、追悼集会が開催される
5月24日	中国語講座を開催(～10月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
7月 7日	チェルタルド市からの東日本大震災義援金を岩手県大船渡市立綾里小学校へ届ける
8月 1日	英語指導助手(ALT)としてマーカス・コールさんが着任
8月	町内小中学生の書画等を哈爾濱市へ送付
12月 3日～6日	ニュージーランド オタキカレッジ生徒が来町 (11名)

2012年(平成24年)

1月22日	第10次チェルタルド市使節団が来町 (10名、25日帰国)
5月16日	中国語講座を開催(～10月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
7月29日	第7次チェルタルド市青年使節団が来町 (14名、8月3日帰国)
8月 6日	英語指導助手(ALT)としてキンバリー・サンさんが着任
8月15日	第14次甘楽町中学生国際交流研修団をチェルタルド市へ派遣 (20名、25日帰国)

8月15日	町内小中学生の書画等をチェルタルド市へ送付
11月20日	財団法人甘楽町国際交流振興協会が第17回群馬県国際交流賞を受賞
12月	第14次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成

2013年(平成25年)

2月 4日	ニュージーランド・オタキ市訪問ツアーの実施 (19名、9日帰国)
4月 1日	財団法人甘楽町国際交流振興協会が公益財団法人へ移行
4月12日 ～16日	ニュージーランド オタキカレッジ生徒が来町 (9名)
5月21日	中国語講座を開催(～10月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
7月29日	第8次ハルビン市中学生研修団が来町 (20名、8月4日帰国)
8月 4日	町内小中学生の書画等をハルビン市へ送付
10月18日	チェルタルド市訪問甘楽町議会議員団出発 (17名、26日帰国)
10月19日	第12次チェルタルド市訪問甘楽町使節団を派遣 (9名、28日帰国)
10月21日	ジョヴァンニ・ボッカチオ生誕700年記念祭に参列
10月22日	チェルタルド市プレトリオ宮殿にて開催された友好親善姉妹都市協定締結30周年記念式典に参列し、共同宣言書に調印 桜の苗木35本をチェルタルド市へ贈呈

2014年(平成26年)

1月31日	第11次チェルタルド市使節団が来町 (9名、2月4日帰国)
2月 1日	町発足55周年記念・姉妹都市協定締結30周年記念式典開催 30周年記念橋(希望の橋「Ponte di speranza」)記念碑除幕
2月 2日 ～23日	町発足55周年記念・姉妹都市協定締結30周年記念事業「ボッカチオ生誕700年記念絵画展」開催
5月27日	中国語講座を開催(～10月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
5月29日	ピザ技術研修者をチェルタルド市へ派遣 (3名、ピザ技術研修者1名は8月25日帰国、2名は6月5日帰国)
7月 7月28日	姉妹都市協定締結30周年記念碑設置 第8次チェルタルド市青年使節団が来町 (7名、8月3日帰国)
8月15日	第15次甘楽町中学生国際交流研修団をチェルタルド市へ派遣 (20名、25日帰国)
8月15日	町内小中学生の書画等をチェルタルド市へ送付
12月	第15次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成

2015年(平成27年)

1月21日	国交振ハルビン市訪問団を派遣 (7名、23日帰国)
1月30日	チェルタルド市訪問ツアーⅡの実施 (20名、2月6日帰国)
5月19日	中国語講座を開催(～10月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
5月31日	第13次チェルタルド市訪問甘楽町使節団を派遣 (5名、6月7日帰国)
6月 4日	チェルタルド市にて甘楽町海外駐在員任命書交付式及び駐在事務所開所式
7月31日	第9次ハルビン市中学生研修団が来町 (19名、8月7日帰国)
8月16日	甘楽町国際交流研修団をハルビン市へ派遣 (13名、21日帰国)
8月16日	町内小中学生の書画等をハルビン市へ送付
9月29日	BOCCACCESCA参加2015チェルタルド市訪問甘楽町使節団をチェルタルド市へ派遣 (6名、10月7日帰国)
12月 5日 ～ 8日	ニュージーランド オタキカレッジ生徒が来町 (15名)
12月	ハルビン市訪問甘楽町国際交流研修団報告記の作成

2016年(平成28年)

1月22日	第6次ハルビン市訪問甘楽町使節団を派遣 (8名、25日帰国)
5月17日	中国語講座を開催(～10月、15回) (講師:佐俣福艶氏)
8月 2日	第9次チェルタルド市青年使節団が来町 (16名、7日帰国)
8月 4日 ～5日	日伊国交150周年記念事業 チェルタルド“食”のフェスタを開催 (道の駅甘楽)
8月16日	第16次甘楽町中学生国際交流研修団をチェルタルド市へ派遣 (20名、26日帰国)
8月16日	町内小中学生の書画等をチェルタルド市へ送付
10月 4日	BOCCACCESCA参加2016チェルタルド市訪問甘楽町使節団をチェルタルド市へ派遣 (8名、12日帰国)
11月19日	甘楽町国際交流振興協会設立30周年記念「秋のかんらモーレ」を開催 (甘楽ふるさと農園ほか町内施設)
12月	第16次甘楽町中学生国際交流研修団報告記の作成

平成28年度 甘楽町中学生国際交流研修団報告記

2016年12月発行

発行・編集

公益財団法人甘楽町国際交流振興協会

群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡161-1

甘楽町役場内 〒370-2292

TEL 0274-74-3131

FAX 0274-74-5813

E-mail kikaku@town.kanra.lg.jp

URL <http://www.town.kanra.lg.jp>